

資料

辻邦生著作文献目録 (3)

Le répertoire des oeuvres de Kunio Tsuji

佐々木 涇*

SASAKI Thoru

前号(第18巻第4号)に引き続いて辻邦生の著作品の目録を掲載する。

1986年1月(昭和61)

1004. 『ある転換期の肖像から』 図書【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)

1005. 『フィレンツェ わが夢』 推薦文, 『フィレンツェ・ウフィーツィ美術館』内容見本, 国際共同出版・岩波書店【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)

1006. 『私の映画手帖〈人生〉を愛する視線…』 婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

1月11日

1007. 『intimitéについて』(原題「ある intimité について」—ボナールの場合)『ボナール』〈現代世界の美術 ジャケット版・9〉, 集英社【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)

1月20日

643. 刊行: 『樹の声 海の声6』第3部・下, 朝日文庫

2月

1008. 『空虚な空間の示す意味』キネマ旬報 2月下旬号 No.928【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

1009. 『ベネロペの織』シネ・ヴィヴァン【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

1010. 『私の映画手帖 製作費と収入と芸術と…』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

2月13日

1011. 『心の砂漠を流れる河—ギリシア映画「シテール島への船出」—』読売新聞 夕刊【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

2月25日

1012. 『あとがき—春の風駆けて』『春の風駆けて』中央公論社

1013. 刊行: 『春の風駆けて ***パリの時』日記, 中央公論社

3月

*教授

1014. 『私の映画手帖 古さと新しさの鏡』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
1015. 『私の好きなミステリ・ベスト10 ミステリ映画・ベスト1』アンケート回答, マリー・クレール 第40号
4月
1016. 『赤坂は消灯ラッパに包まれていた』季刊東京人 第2号【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
1017. 『書くことの快樂』マリー・クレール 第41号【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
1018. 『成熟するときの歩みー〈定家明月記私抄〉書評ー』新潮【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
1019. 『私の映画手帖 不思議の国の日本から』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
4月10日
640. 刊行: 『辻邦生全短篇・I』短篇小説集, 中公文庫
4月20日
1020. 刊行: 辻邦生編『風と樹木と鳥の声』エッセイ集, 〈エッセイおとなの時間〉シリーズ, 新潮社
1021. 『〈自然〉と〈人生〉と』辻邦生編『風と樹木と鳥の声』〈エッセイおとなの時間〉シリーズ, 新潮社
5月
1022. 『中村眞一郎展によせて』軽井沢高原文庫 創刊号: 中村眞一郎に寄す【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
1023. 『水に書かれた物語』(原題「水に書かれた物語の話」)波〈私のペン・ブレイク〉【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
1024. 『私の映画手帖 根を失った時代の根を求めて』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
5月15日
814. 刊行: 『デュファイーある転換期の芸術家の肖像一』湯川書房 限定版
5月25日
1025. 『萬象を移りゆくもの』宮脇愛子著『うつろい』美術出版社
6月
1026. 『いま, なぜ, 世紀末なのか』対談(如月小春)青春と読書
1027. 『〈終らぬ恋そして終る恋〉一恋愛映画の童話性一』マリー・クレール 第43号
1028. 『“宿命”の女カルメン』ライジング No.3 〈カルメンの恋〉
1029. 『若さについて』オッターマガジン Vol.13【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
1030. 『私の映画手帖「面白い」とはどういうこと?』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
6月10日
1031. 『作品制作に関する「日記」抜粋』『辻邦生全短篇・II』中公文庫
640. 刊行: 『辻邦生全短篇・II』短篇小説集, 中公文庫
1032. 『フランスへの誘い』対談(森本哲郎)『世界 知の旅〈8恋と自由のセーヌ河〉』小学館
6月18日

1033. 『文庫版〈辻邦生全短篇〉あとがき』『辻邦生全短篇・Ⅰ』中公文庫
1034. 『フィクションとは何か—現実と小説の間—』講演, 於・山梨市民会館, 山梨教育委員会・校長研修会【収録誌】『苛酷な現実を超える力』山梨日日新聞, 1986年6月24日(昭和61)6月25日
1035. 『世紀末精神のゆくえ—新しきものの始まり』対談(菅野昭正), 『世紀末の美と夢1 (フランス) 憂愁のエロス』集英社
1036. 刊行: 辻邦生編『世紀末の美と夢1 憂愁のエロス (フランス)』集英社
1037. 『夜ひらく—パリ 十月の死の匂い』『世紀末の美と夢1 憂愁のエロス(フランス)』集英社【収録誌1】『夜ひらく』集英社, 1988年3月25日(昭和63)【収録誌2】『夜ひらく』集英社文庫, 1996年2月25日(平成8)7月
1038. 『いま, 「世紀末」に何を学ぶか〈『世紀末の美と夢』に寄せて〉』対談(清水徹)本の窓
1039. 『河合勘助とフィルムハウスと』(改題『川合勘助の思い出』)木曾福島 第6回フィルムハウス上映会パンフレット【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
1040. 『純粋な生命のプロテスト—「山の焚火」に燃えるもの』キネマ旬報 7月下旬号 No.940【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
1041. 『精神の空間で遊ぶ—日欧文明比較考—』対談(赤川次郎)世界〈21世紀対談〉【収録誌】赤川二郎『同時代を語る—11のカルチャー対話—』岩波書店, 1987年5月29日(昭和62)
1042. 『私の映画手帖 揺れ動くときのさなかに…』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)7月10日
1043. 『文学が誘う欧州旅行』対談(北杜夫)朝日新聞 夕刊広告特集 (Boxseat) 7月19日
1044. 『若い日の私—徴兵回避に必死の受験勉強—』毎日新聞【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)8月
1045. 『「美しい狂気」の季節—「祝祭と狂乱の日々—1920年代パリ」を讀んで』マリー・クレール 第45号【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)
1046. 『詩的根源を求めて』(原題「詩的根源における読書」)短歌【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
1047. 『西欧の光 秩序の光』第2回〈東京の夏〉音楽祭パンフレット
1048. 『「世紀末」映画祭あれこれ』キネマ旬報 8月下旬号 No.942
1049. 『堂々たる人間ドラマ』『道』公開パンフレット, 東映
1050. 『私の映画手帖 現実の物語と, 物語の現実』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)8月10日
1051. 刊行: 辻邦生編『世紀末の美と夢2 華麗なる頽廢 (ドイツ・オーストリア)』集英社
1052. 『夜ひらく—ウィーン 狩人たちの午後の歌』『世紀末の美と夢2 華麗なる頽廢 (ドイツ・オーストリア)』集英社【収録誌1】『夜ひらく』集英社, 1988年3月25日(昭和63)【収録誌2】『夜ひらく』集英社文庫, 1996年2月25日(平成8)
1053. 『ロマンティシズムと世紀末』対談(高階秀爾)『世紀末の美と夢2 華麗なる頽廢(ドイツ・オーストリア)』集英社
- 9月

1054. 『“生への賛歌”の息づかい』『思春期』公開パンフレット, 岩波ホール
1055. 『短篇小説の愉しみ』対談(阿部昭) 図書【収録誌】『短篇小説を語る<阿部昭対談集>』福武書店, 1987年11月16日(昭和62)
1056. 『私の映画手帖 愛の不在に突き刺さる視線』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
9月7日
1057. 『西行と桜』講演, <桜シンポジウム・イン・高遠> 高遠町合併30周年記念講演会【収録誌】『詩と永遠』岩波書店, 1988年6月30日(昭和63)
9月10日
1058. 刊行: 辻邦生編『世紀末の美と夢3 美神と殉教者(イギリス)』集英社
1059. 『美と内面への逃走』対談(丸谷オ一)『世紀末の美と夢3 美神と殉教者(イギリス)』集英社
1060. 『夜ひらくーグラスゴウ カラスの帽子と赤い薔薇』『世紀末の美と夢3 美神と殉教者(イギリス)』集英社【収録誌1】『夜ひらく』集英社, 1988年3月25日(昭和63)【収録誌2】『夜ひらく』集英社文庫, 1996年2月25日(平成8)
- 10月
1061. 『幻視と現実のあいだで』学燈【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
1062. 『世紀末という劇場ーシンポジウム』座談会(唐十郎, 清水徹, 白石かずこ, 司会役) ずばる
1063. 『生の声 死の声』シネクラブ会報<デュラス特集> アテネ・フランセ文化センター【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
1064. 『私の映画手帖 現実を透視する視線とは…』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
- 10月10日
75. 刊行: 『安土往還記』(大活字本) 埼玉福祉会
1065. 刊行: 辻邦生編集『世紀末の美と夢4 危機の胎動(ロシア)』集英社
1066. 『白夜の季節に生きる』対談(埴谷雄高)『世紀末の美と夢4 危機の胎動(ロシア)』集英社【収録誌】埴谷雄高『重力と真空ー埴谷雄高対談集ー』(「世紀末とロシア文学」と改題されて収録) 未来社, 1991年8月30日(平成3)
1067. 『夜ひらくーペテルブルグ 吹雪の夜のヴィーナス』『世紀末の美と夢4 危機の胎動(ロシア)』集英社【収録誌1】『夜ひらく』集英社, 1988年3月25日(昭和63)【収録誌2】『夜ひらく』集英社文庫, 1996年2月25日(平成8)
- 10月25日
1068. 『ブラウン神父における隠されたもの』(原題「隠されたもの」) 井上ひさし編『「ブラウン神父」ブック』春秋社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
- 11月
1069. 『<一なるもの>への思慕』推薦文, 『プロティノス全集』内容見本, 中央公論社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
1070. 『苦悩と不安の果てに見たもの』推薦文, サンドロ・ボッティチェルリ『ダンテ「神曲」の挿絵』内容見本, 岩波書店
1071. 『私の映画手帖 リヨンの宿で思うこと…』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
- 11月10日
1072. 『華麗な顔廢の伝統』対談(塩野七生)『世紀末の美と夢5 没落の豫感(イタリア・スペイン他)』

集英社

1073. 刊行：辻邦生編集『世紀末の美と夢5 没落の豫感（イタリア・スペイン他）』集英社
1074. 『夜ひらく—ミラノ 星座のメリーゴーラウンド』『世紀末の美と夢5 没落の豫感（イタリア・スペイン他）』集英社【収録誌1】『夜ひらく』集英社，1988年3月25日（昭和63）【収録誌2】『夜ひらく』集英社文庫，1996年2月25日（平成8）
- 11月25日
1075. 『物たちの祝祭のなかで』『小杉小二郎画集』求龍堂
- 12月
1076. 『世紀末に、いざ、酔わん—「フレンチカンカン」』シネクラブ会報〈特集：世紀末と映画〉，アテネ・フランセ文化センター
1077. 『世紀末の中の世紀末—〈世紀末の美と夢〉シリーズの編集を終えて』青春と読書【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）
1078. 『私の映画手帖 現実の歪みと鏡の歪みと』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）
- 12月10日
1079. 刊行：辻邦生編集『世紀末の美と夢6 夢想への逃亡（非在の土地）』集英社
1080. 『夜ひらく—彼方へ 逃亡者たちの砂時計』『世紀末の美と夢6 夢想への逃亡（非在の土地）』集英社【収録誌1】『夜ひらく』集英社，1988年3月25日（昭和63）【収録誌2】『夜ひらく』集英社文庫，1996年2月25日（平成8）
1081. 『我らは何処へ行くのか？』対談（篠田一士）『世紀末の美と夢6 夢想への逃亡（非在の土地）』集英社
- 1987年1月（昭和62）
1082. 『ある終末論の告知』新潮 一窓・映画—
1083. 『星空の下のルネサンス』レコード藝術【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）
1084. 『私の映画手帖 現代社会の〈幸福〉とは…』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）
- 1月23日
1085. 『〈雲の宴〉を書き終えて』朝日新聞 夕刊【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
- 2月
1086. 『映像の真実 真実の映像』新潮 一窓・テレビ—
1087. 『“悲しめる母”の記憶』婦人之友【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
1088. 『私の映画手帖 大都会の人々その詩と真実』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）
1089. 『苦難越す希望の歌—世紀末の幻想』東京新聞 夕刊 —バーン・ジョーンズと後期ラファエル前派展③—
1090. 『C階段から見えてくるもの』対談（石木まゆみ）Cine Vivant No.19 「Escalier C」上映パンフレット
- 3月
1091. 『人間の救済にかかわる美—タルコフスキーの遺作について—』キネマ旬報 3月上旬号 No.955
1092. 『パリ・光・影』新潮 一窓・写真—

1093. 『ヨーロッパの栄光と虚偽の間』キネマ旬報 3月下旬号 No.956【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
1094. 『私の映画手帖 あるロシアの映画監督の死』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
3月8日
1095. 『音楽の土台としての生活文化—パリ・ウィーンの音楽会の思い出から—』日本経済新聞【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
3月20日
991. 刊行:『雲の宴』上・下, 朝日新聞
3月27日
1096. 『私のヨーロッパ』談話, 朝日新聞 国際地方版
3月31日
1097. 『多くの女性も参加した甲斐の石門心学』対談, 『望月知事と語る・4』明日への鼓動』山梨県広報協会
4月
1098. 『鏡』そしてこの孤独なロシア人について』マリー・クレール 第53号【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
1099. 『バビロンの庭園』睡蓮の午後・3, 海燕【収録誌】『水蓮の午後』福武書店, 1990年5月15日(平成2)
1100. 『私の映画手帖 幸福をめぐり, 映画をめぐり』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
4月1日
1101. 『落日にきらめくもの』(原題「井上靖・人と作品」)『昭和文学全集第十巻 井伏鱒二 永井龍男 宇野千代 井上靖』小学館【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
4月2日
1102. 『ロマン派の冒険』(原題「自由な個性のロマン派—87年アリオン・レクチャー・コンサート—」)朝日新聞 夕刊【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
4月26日
1103. 『ワルキューレの陶酔』(原題「辻邦生さんとワルキューレを聞く」)朝日新聞【収録誌1】『名作54 読む見る聴く Part③』朝日新聞社, 1987年8月10日(昭和62)【収録誌2】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
5月
1104. 『19世紀末と20世紀末—二つの世紀末文明の宿命』第28回朝日ゼミナール「世紀末ヨーロッパ追想」パンフレット
1105. 『愛の亡霊』〈エマニュエル物語・その1〉—董いろの場所からの挿話・Ⅲ, —ある生涯の七つの場所・87—, マリー・クレール 第54号【収録誌1】『神々の愛でし海—ある生涯の七つの場所8』中央公論社, 1988年11月25日(昭和63)【収録誌2】『神々の愛でし海』中公文庫, 1993年3月10日(平成5)
1106. 『岩波文庫 私の三冊』図書(アンケート「私の三冊」より)【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
1107. 『空想の画廊への散歩』推薦文, 「岩波美術館」内容見本, 岩波書店【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
1108. 『私の映画手帖 現実を見つめたあとで』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年

10月1日(昭和63)

1109. 『果てしない生の哀歓』(原題「果てしなく生の哀歓を語る絵画」)朝日ジャーナル【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)

5月23日

1110. 『美と幸福について』講演, 野萩青少年育成財団ホール【収録誌1】「野萩青少年育成財団パンフレット」1987年9月(昭和62)【収録誌2】『詩と永遠』岩波書店, 1988年6月30日(昭和63)

5月28日

1111. 刊行: 辻邦生編『絵画』淡交社, 井上靖監修〈古美術読本5〉

6月

1112. 『運河の眺め』〈エマニュエル物語・その2〉一董いろの場所からの挿話・Ⅳ, 一ある生涯の七つの場所・88一, マリー・クレール 第55号【収録誌1】『神々の愛でし海—ある生涯の七つの場所8』中央公論社, 1988年11月25日(昭和63)【収録誌2】『神々の愛でし海』中公文庫, 1993年3月10日(平成5)

1113. 『オリンピアの廃墟で』オッターマガジン Vol. 14【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)

1114. 『古城復元反対論』アンケート回答, 藝術新潮

1115. 『ポーランド, そしてポーランドを超えるもの』『人形』上映パンフレット【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

1116. 『マーラー好きの知識人の肖像』シネマ・スクエア・マガジン 第52号, 『マーラー』上映パンフレット【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

1117. 『私の映画手帖 世界は違ってゆく—パリだより—』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

6月13日

1118. 『無言で教える「自由と責任」—わが家のガイドライン—』日本経済新聞 夕刊【収録誌1】『これだけは言っておく』日本経済新聞社, 1988年8月22日(昭和63)【収録誌2】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)

6月25日

1119. 『あとがき—海のこと母のこと』辻邦生編『日本名随筆 56 海』作品社

1120. 刊行: 辻邦生編集『日本名随筆 56 海』作品社

7月

1121. 『河合勘助と「人情紙風船」』(改題『川合勘助の思い出』)木曾福島・第7回フィルムハウス上映会パンフレット【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)

1122. 『“浄福”の虚像と実像について』キネマ旬報 7月上旬号 No.963【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

1123. 『二人だけの秋』〈エマニュエル物語・その3〉一董いろの場所からの挿話・Ⅴ, 一ある生涯の七つの場所・89一, マリー・クレール 第56号【収録誌1】『神々の愛でし海—ある生涯の七つの場所8』中央公論社, 1988年11月25日(昭和63)【収録誌2】『神々の愛でし海』中公文庫, 1993年3月10日(平成5)

1124. 『私の映画手帖 時代を映す鏡, 鏡を映す時代』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

7月26日

1125. 『書くこと読むこと考えること』講演, 自由学園女子部卒業生夏期学校【収録誌】学園新聞, 自由学園, 1987年9月1日(昭和62)

8月

1126. 『ある悲劇の相貌—カミーユ・クローデルとロダンの間』「カミーユ・クローデルアルバム」アブト・インターナショナル発行【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
1127. 『カラヴァッジオ』その反転の美学』シネマライズ・渋谷, No.8『カラヴァッジオ』上映パンフレット【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
1128. 『郡虎彦因縁ばなし—郡虎彦 その夢と生涯をめぐって—』図書【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
1129. 『聖女バルバラ祭の夜に』〈エマニュエル物語・その4〉—董いろの場所からの挿話・VI, 一ある生涯の七つの場所・90—, マリー・クレール 第57号【収録誌1】『神々の愛でし海—ある生涯の七つの場所8』中央公論社, 1988年11月25日(昭和63)【収録誌2】『神々の愛でし海』中公文庫, 1993年3月10日(平成5)
1130. 『私の映画手帖 ビデオから映画へ, 映画からビデオへ』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

9月

1131. 『海の夫人』〈エマニュエル物語・その5〉—董いろの場所からの挿話・VII, 一ある生涯の七つの場所・91—, マリー・クレール 第58号【収録誌1】『神々の愛でし海—ある生涯の七つの場所8』中央公論社, 1988年11月25日(昭和63)【収録誌2】『神々の愛でし海』中公文庫, 1993年3月10日(平成5)
1132. 『時の往還』睡蓮の午後・4, 海燕【収録誌】『水蓮の午後』福武書店, 1990年5月15日(平成2)
1133. 『私の映画手帖 幸福の佇む風景から』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

9月1日

1134. 『イギリスの世紀末』対談(丸谷才一)『世紀末そして忠臣蔵〈丸谷才一对談集〉』立風書房

10月

1135. 『美しい夏の行方—中部イタリア 旅の断章から—』マリー・クレール 第59号
1136. 『サクリファイスが語りかけるもの』『サクリファイス』ソニービデオ【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
1137. 『私の映画手帖 いま〈大入り〉映画の条件とは』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

11月

1138. 『あるレクイエム—高木進と佐貫健に』新潮【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
1139. 『音楽・ことば・物語』辻靖剛先生七回忌追悼薩摩琵琶演奏会プログラム【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
1140. 『長い旅の終り』〈エマニュエル物語・その6〉—董いろの場所からの挿話・VIII—ある生涯の七つの場所・92—, マリー・クレール 第60号【収録誌1】『神々の愛でし海—ある生涯の七つの場所8』中央公論社, 1988年11月25日(昭和63)【収録誌2】『神々の愛でし海』中公文庫, 1993年3月10日(平成5)
1141. 『中村眞一郎を見た日』劇団俳優座191回公演プログラム『あまつそらなる…』【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
1142. 『私の映画手帖 ある映画的女性論』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

11月21日

1143. 『小説家としての生き方—とくに物語形式と事實的伝達の差異について—』講演, 「感謝のつどい」日本点字図書館【収録誌1】「思想」岩波書店, 1988年1月(昭和63)【収録誌2】『詩と永遠』岩波書店, 1988年6月30日(昭和63)

12月

1144. 『ある告白的“岩波ホール”論』エキブ・ド・シネマ No.87『愛の記録』上映パンフレット

1145. 『ソーマ河のほとり』〈エマニュエル物語・その7〉一董いろの場所からの挿話・Ⅹ, 一ある生涯の七つの場所・93—, マリー・クレール 第61号【収録誌1】『神々の愛でし海—ある生涯の七つの場所8』中央公論社, 1988年11月25日(昭和63)【収録誌2】『神々の愛でし海』中公文庫, 1993年3月10日(平成5)

1146. 『マーシェンカー〈マーシェンカ〉の詩的喚起について』キネマ旬報 12月下旬号 No.975

1147. 『眼と手の渴望の中で』推薦文, 『The Savoy』(覆刻版) 内容見本, 大修館【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)

1148. 『私の映画手帖 子供が子供であったとき』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

12月20日

1149. 『オルセー美術館にて』『日本人と印象派』〈日本IBM創立50周年記念出版〉, 日本 IBM【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)

12月21日

1150. 『凍れる音楽』である建築と「流動する建築」である音楽と』対談(磯崎新)『CASALS HALL』〈カザルスホール オープニング記念版〉主婦の友社

1151. 『老カザルスの意味』『CASALS HALL』〈カザルスホール オープニング記念版〉主婦の友社【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)

1988年1月(昭和63)

1152. 『21世紀への出発をどこにおくか』対談(電源開発株式会社社長藤原一郎)電源 No.375〈新春対談〉

1153. 『アッティカの白い墓』睡蓮の午後・5, 海燕【収録誌】『水蓮の午後』福武書店, 1990年5月15日(平成2)

1154. 『男の立場—「メロ」』推薦文, Chanter Cine 1, No.2【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)

1155. 『神々の愛でし海』〈エマニュエル物語・その8〉一董いろの場所からの挿話・Ⅹ, 一ある生涯の七つの場所・94—, マリー・クレール 第62号【収録誌1】『神々の愛でし海—ある生涯の七つの場所8』中央公論社, 1988年11月25日(昭和63)【収録誌2】『神々の愛でし海』中公文庫, 1993年3月10日(平成5)

1156. 『現代の幸福のありか』鼎談(近藤信行, 下斗米玲子), 婦人之友

1157. 『サビーヌ・アゼマとの一時間』インタビュー, キネマ旬報 1月下旬号 No.977

1158. 『触発されたるもの』対談(三善晃), 音楽藝術〈三善晃対談シリーズ①〉

1159. 『青春のプロフィール』(原題「わが青春のプロフィール」) ABC JOURNAL No.41, 青山ブックセンター発行【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)

1160. 『人が, 風景が, 構成が, 演劇的なのです』Cine Saison 「フェゴス」上映プログラム

1161. 『一洋—』対談(千宗之)淡交〈千宗之若宗匠随談〉

1月1日

1162. 『心の拠点ふるさとに一県立文学館の完成待ち望む—』対談(望月山梨県知事)山梨日日新聞 1月14日

1163. 『黒い瞳』推薦文, 朝日新聞 夕刊〈朝日シネマ・スペシャルレビュー・広告特集〉
1月20日
904. 刊行:『椎の木のほとり』短篇小説集, 中央公論社
2月
1164. 『1ミリの進歩にも喜びと希望を』—女たちの映画祭10周年記念上映会へのメッセージ, <アウ
シュビッツの女囚・招待> 上映プログラム
1165. 『ジュラの夜明けに』<エマニュエル物語・その9>—董いろの場所からの挿話・XI—ある生涯の
七つの場所・95—, マリー・クレール 第63号【収録誌1】『神々の愛でし海—ある生涯の七つの場所
8』中央公論社, 1988年11月25日(昭和63)【収録誌2】『神々の愛でし海』中公文庫, 1993年3月10
日(平成5)
1166. 『三侯蓮華岳への思い』(原題「わが青春の三侯蓮華岳」) 岳人【収録誌】『時刻のなかの肖像』新
潮社, 1991年5月20日(平成3)
2月2日
1167. 『「1939年夏」の不安—「愛の記録」』(原題「〈1939年夏〉の不安—〈愛の記録〉の周辺」) 毎日新
聞 夕刊【収録誌1】「友 Iwanami Hall」5月号 №213, 1988年5月(昭和63)【収録誌2】『美しい
人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
- 3月
1168. 『Visconti ある貴族へのレクイエム』マリー・クレール 第64号【収録誌1】『私の映画手帖』文
藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)【収録誌2】淀川長治編『日本の名随筆 別冊5』作品社, 1991年
7月25日(平成3)
1169. 『恋の向う側とこちら側—「タナギ セザールとロザリー」』上映パンフレット【収録誌】『美し
い人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1170. 『潮騒を聞いた日々』<エマニュエル物語・その10>—董いろの場所からの挿話・XII, —ある生涯
の七つの場所・96—, マリー・クレール 第64号【収録誌1】『神々の愛でし海—ある生涯の七つの場
所8』中央公論社, 1988年11月25日(昭和63)【収録誌2】『神々の愛でし海』中公文庫, 1993年3月
10日(平成5)
1171. 『小説の夜明けたち—短篇連作〈夜ひらく〉の目ざすもの』青春と読書【収録誌】『永遠の書架に
たちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
- 3月7日
1172. 『還らぬものへのレクイエム—モスクワ芸術座「かもめ」の新しい美について—』朝日新聞 夕刊
3月25日
1173. 『ヴィラアドリアーナ幻想』谷尾襄『ヨーロッパ名園散歩』中央公論社
1174. 刊行:『夜ひらく』連作短篇小説集, 集英社【収録誌】『夜ひらく』集英社文庫, 1996年2月25日
(平成8)
- 4月
1175. 『アダムとイヴのバラードから』<エマニュエル物語・その11>—董いろの場所からの挿話・XIII,
—ある生涯の七つの場所・97—, マリー・クレール 第65号【収録誌1】『神々の愛でし海—ある生涯
の七つの場所8』中央公論社, 1988年11月25日(昭和63)【収録誌2】『神々の愛でし海』中公文庫,
1993年3月10日(平成5)
1176. 『夷齋先生—ささやかな portrait』すばる, 臨時増刊号〈石川淳追悼記念号〉【収録誌】『永遠の
書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
1177. 『生命よ 時を超えて躍動せよ—劇団四季三十五周年に贈る言葉—』『オペラ座の怪人』上演パン
フレット

1178. 『カフェの魅力 昨日今日』 CUE'S 第5号 鐘紡株式会社発行 【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日 (平成4)
1179. 『地上に在ること』への参加—「ベルリン・天使の詩」キネマ旬報 4月上旬号 No.983 【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日 (平成5)
1180. 『人間の“宿命”の行方—「愛と宿命の泉」』上映パンフレット, 松竹事業部編・発行 【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日 (平成5)
1181. 『水の女』睡蓮の午後・6, 海燕 【収録誌】『水蓮の午後』福武書店, 1990年5月15日 (平成2)
1182. 『森有正と「定義」とアランと』対談 (所雄章) みすず 【収録誌】アラン著森有正訳『定義集』みすず書房, 1988年5月16日 (昭和63)
- 4月7日
1183. 『愛と宿命の泉』推薦文, 朝日新聞 夕刊 映画広告
- 4月30日
1184. 『文学・その歓びへの視線』談 (山本哲二, 福井憲彦) 季刊 iichiko, 日本ペリエール・アート・センター No.7
- 5月
1185. 『近代文学 この一篇—森鷗外訳「諸国物語」』新潮 創刊100号記念 (同題のアンケートより) 【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日 (平成2)
1186. 『幸福な夢のなかで』推薦文, ル・クレジオ『海を見たことがなかった少年』集英社 【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日 (平成2)
1187. 『桜の国へ そして桜の国から』<エマニュエル物語・その12> 一董いろの場所からの挿話・Ⅳ, 一ある生涯の七つの場所・98—, マリー・クレール 第66号 【収録誌1】『神々の愛でし海—ある生涯の七つの場所8』中央公論社, 1988年11月25日 (昭和63) 【収録誌2】『神々の愛でし海』中公文庫, 1993年3月10日 (平成5)
1188. 『生活気分としてのロマン派—ゲーテとベートーヴェンをへだてるもの』ポリフォーンVol. 2, サントリー音楽財団編・TBSブリタニカ発行 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日 (平成5)
1189. 『天使が君の食卓に坐ったとき—ヴィム・ヴェンダースと「ベルリン・天使の歌」を語る—』マリー・クレール 第67号
1190. 『時のなかの歩み』(原題「好きな詩」) 俳句とエッセイ 【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日 (平成2)
1191. 『六つの魅力』ラ・アルプVol. 38
- 6月
1192. 『故郷喪失者の郷愁—「ノスタルジア」』「ノスタルジア」ソニービデオ 【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日 (平成5)
1193. 『肉体を動かす喜び』オッターマガジン Vol. 15 【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日 (平成3)
1194. 『病気になる術 なおる術』知識 【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日 (平成3)
1195. 『炎の空間の意味するもの—ベルク哲子の連作<火の内側>をめぐる—』Art '88 No.123
1196. 『恋愛小説 私の三冊』文藝春秋, (アンケート「第一線作家30人が選んだ恋愛小説ベスト3」より) 【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日 (平成2)
- 6月4日
1197. 『映像と記述』講演, 於・武蔵野女子大学 昭和文学会主催 【収録誌1】昭和文学研究 第18集, 昭

- 和文学会, 1989年2月25日(平成1)【収録誌2】『言葉が輝くとき』文藝春秋, 1994年8月10日(平成6)
- 6月9日
1198. 『青春の雲と蝶』(原題「わが青春の雲と蝶」) 毎日新聞【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
- 6月11日
1199. 『美しいものの奪還—ラスキンとブルースト—』講演, 於・朝日ホール, ラスキンの文庫主催【収録誌】『言葉が輝くとき』文藝春秋, 1994年8月10日(平成6)
- 6月30日
1200. 『あとがき—〈詩と永遠〉』『詩と永遠』岩波書店
1201. 刊行: 『詩と永遠』講演集, 岩波書店
- 7月
1202. 『新しい〈都市空間〉への演出—東京グローブ座とその周辺—』婦人之友
1203. 『探索者』睡蓮の午後・7, 海燕【収録誌】『水蓮の午後』福武書店, 1990年5月15日(平成2)
1204. 『時を奪還するものとしての「指輪」』パイロイト音楽祭プログラム(独英仏語訳)【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
1205. 『パリの光 パリの雲』第4回〈東京の夏〉音楽祭'88, フェスティバル・マガジン【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)
1206. 『悲劇という祭壇の前で—「予告された殺人の記録」』Cine Switch(上映パンフレット) Vol. 4【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1207. 『マイベスト10と好きな映画人』アンケート回答, 『洋画ベスト150』文春文庫ビジュアル版
- 8月
1208. 『変幻する雲の魅惑』藝術新潮【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
- 8月1日
1209. 『映画批評を超えた理由—関根隆〈ヒッチコック「めまい」の愛と死〉』週刊読書人
- 8月20日
1210. 『フランス—風の旅, 雲の旅』紀行文, 『フランスの新しい風』中央公論社【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)
1211. 刊行: 辻邦生編『フランスの新しい風』中央公論社
1212. 『フランスの昨日, 今日, 明日』座談会(大空博, 柏倉康夫, 友田錫, 山本一郎, 和田俊)『フランスの新しい風』中央公論社
1213. 『森のなかで思うこと』(原題「森の生活」) 読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
- 9月
1214. 『100の短篇その愛と死のドラマ—連作「ある生涯の七つの場所」完結記念対談』対談(清水徹) 新刊ニュース No.458
1215. 『季節の中に生きること』俳句四季【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
1216. 『薔薇—フォーレ〈レクイエム〉による—』音楽芸術【収録誌】『楽興の時十二章』音楽之友社, 1990年11月10日(平成2)
1217. 『物語構造における〈語り手〉視点の導入の意味』—自作『夏の砦』の経験を通しての考察—, 記号学研究 第8号〈テキストの記号論—ことばとわたちのポエティクス—〉日本記号学会編・東海大

学出版会

9月19日

1218. 『カラヴァッジオ〈聖母の死〉』信濃毎日新聞 美〈私の一点〉

1219. 『世界史のなかの信長』(原題「世界史の中の信長」) 中日新聞 夕刊【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)

10月

1220. 『海に向って, 夏—シチリアの旅から—』マリー・クレール 第71号

1221. 『男と女の重さと軽さ—「存在の耐えられない軽さ」』キネマ旬報 10月上旬号 No.994【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)

1222. 『真に生きる画人』推薦文, 小泉淳作『アトリエからの眺め』築地書館

1223. 『水仙』音楽芸術【収録誌】『楽興の時十二章』音楽之友社, 1990年11月10日(平成2)

1224. 『睡蓮の変貌』チャールズ・スタッキー『モネ「睡蓮」』内容見本, 中央公論社

1225. 『青春を横切った映画たち』キネマ旬報 10月下旬号 No.995【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)

1226. 『日本の詩歌に美をさぐる』談話, 新刊展望 No.514

1227. 『フランス映画について』アンケート, キネマ旬報 10月下旬号 No.995

1228. 『ラスキンとプルースト(1)』ラスキン文庫たより 第12号

10月1日

1229. 刊行: 『私の映画手帖』映画評論集, 文藝春秋

11月

1230. 『R』睡蓮の午後・8, 海燕【収録誌】『水蓮の午後』福武書店, 1990年5月15日(平成2)

1231. 『教育という芸術行為』山梨教育推進だより【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)

1232. 『三色堇』音楽芸術【収録誌】『楽興の時十二章』音楽之友社, 1990年11月10日(平成2)

1233. 『ジャポニズムの底に見えるもの』『ジャポニズム』日本 IBM 美術スペシャル記念出版, 日本 IBM【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)

1234. 『トリュフォー, その軽やかな偉大さ—「アメリカの夜」』キネマ旬報 11月上旬号 No.996【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)

1235. 『パリー—その変貌への誘惑』マリー・クレール 第72号【収録誌】『私の二都物語—東京・パリ』中央公論社, 1993年7月30日(平成5)

1236. 『ロベールと初めて出会った頃』推薦文, 『小学館ロベール仏和大辞典』内容見本【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)

11月18日

1237. 『文学現象と作家の間—資料展示室での戸惑い—』毎日新聞 夕刊【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)

11月25日

1238. 『あとがき—〈神々の愛でし海〉』『神々の愛でし海』中央公論社

1239. 『エピローグ—ある生涯の七つの場所』『神々の愛でし海』—ある生涯の七つの場所・8—, 中央公論社【収録誌】『神々の愛でし海』中公文庫, 1993年3月10日(平成5)

1155. 刊行: 『神々の愛でし海』短篇集, 中央公論社【収録誌】『神々の愛でし海』中公文庫, 1993年3月10日(平成5)

1240. 『プロローグ—ある生涯の七つの場所』『神々の愛でし海』—ある生涯の七つの場所・8—(付録として別刷り)【収録誌】『霧の聖マリ』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)

12月

1241. 『悔恨のなかの慰め—「さよなら子供たち」』 上映パンフレット, シネセゾン【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)

1242. 『銀嶺草』音楽芸術【収録誌】『楽興の時十二章』音楽之友社, 1990年11月10日(平成2)

1243. 『ルネ・クレマンとの対話から』キネマ旬報 12月上旬号 No.998

12月4日

244. 『霧島山麓の風のなかで』日本経済新聞【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)

1989年1月(昭和64)

1245. 『外国映画史上ベスト・テン』キネマ旬報 1月上旬号 No.1000

1246. 『睡蓮』音楽芸術【収録誌】『楽興の時十二章』音楽之友社, 1990年11月10日(平成2)

1247. 『選評—受賞理由(芸術選奨文部大臣賞文学部門)』三木卓『小嘶集』

1248. 『天使たちのフルコース—「バベットの晩餐会」』マリー・クレール【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)

1249. 『日本映画史上ベスト・テン』キネマ旬報 1月下旬号 No.1001

2月

1250. 『アネモネ』音楽芸術【収録誌】『楽興の時十二章』音楽之友社, 1990年11月10日(平成2)

1251. 『前菜(オードブル)としての序文』戸塚真弓著『パリからのおいしい話』序文, 帯にも

1252. 『ビザンツの光の下一ギリシャ・イタリアのモザイクを訪ねて』地中海学会秋季連続講演会(1988.12.17)講演要旨, 地中海学会月報, No.117

1253. 『山中貞雄の澄んだ視線—「人情紙風船」』(原題「山中貞雄の澄んだ視線—人情紙風船—の奥にある現実」)世界【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)

1228. 『ラスキンとプルス(2)』ラスキン文庫たより 第13号

1254. 『われらの時代への挽歌—ある生涯の七つの場所—を終えて』マリー・クレール 75号

2月1日

1255. 『スタンダールの糸』ちくま No.215 <大岡昇平追悼>

2月20日

1256. 『手紙を書くこと運ぶこと』郵政

3月

1257. 『あらせいとう』音楽芸術【収録誌】『楽興の時十二章』音楽之友社, 1990年11月10日(平成2)

1258. 『芸術家であることの意味—「タルコフスキー・ファイル in サクリフェイス」』キネマ旬報 3月下旬号【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)

1259. 『恋の力学』新潮 <大岡昇平 人と文学>

1260. 『乗り換え駅にて』睡蓮の午後・9, 海燕【収録誌】『水蓮の午後』福武書店, 1990年5月15日(平成2)

3月1日

1261. 『教育の場への深い〈喜び〉を』山梨教育推進だより <山梨教育推進アドバイザー提言集> No.2 昭和63年度

3月31日

1262. 『山梨と文学—その風土を探る—』シンポジウム(近藤信行, 井尻千男, 小村富士夫), 山梨の文学 第5号, 山梨県教育委員会・県立文学館準備室編集発行

4月

1263. 『百合』音楽芸術【収録誌】『楽興の時十二章』音楽之友社, 1990年11月10日(平成2)

1264. 『美に酔う構図—宗達・光琳・抱一を流れるもの』辻邦生/河野元昭 編「日本美を語る 九く絢爛の装飾美—琳派絵画と障壁画」, ぎょうせい【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
4月7日
1265. 『無題: 推薦文〈小学館ロベール仏和大辞典推薦〉』朝日新聞 広告
4月10日
1266. 『映画館〈銀座シャンゼリゼ〉の彼方』étoile vol. 1, 銀座シャンゼリゼ発行
1267. 『パリのむかしパリのいま』アサヒグラフ 増刊号
4月14日
1268. 『美しい町』神戸新聞 夕刊
1269. 『甘美な夢を追った反時代人—篠田一士氏を悼む』毎日新聞
4月
1270. 『美しい町ふたたび』神戸新聞 夕刊
5月
1271. 『地と天の三面記事 (フェ・ディヴェール)』睡蓮の午後・10, 海燕【収録誌】『水蓮の午後』福武書店, 1990年5月15日(平成2)
1272. 『不思議な酩酊感の中で人間的な優しさを知る』対談(草柳大蔵) TRAVELLER May-June
〈特集・人生エンジョイ派, イタリア〉, CATHAY PACIFIC発行
1273. 『マゲノリア』音楽芸術【収録誌】『楽興の時十二章』音楽之友社, 1990年11月10日(平成2)
5月18日
1274. 『美しい町三たび』神戸新聞 夕刊
5月31日
1275. 『美しい町四たび』神戸新聞 夕刊
6月
1276. 『いにしえの言葉と心』対談(竹西寛子), 波 第234号
1277. 『さんざし(オペピーヌ)』音楽芸術【収録誌】『楽興の時十二章』音楽之友社, 1990年11月10日(平成2)
1278. 『冷たい成功者と暖かい失敗者—「私のなかのもうひとりの私」』キネマ旬報 6月下旬号【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1279. 『美の憧憬者の影—篠田一士の死を悼んで』すばる〈追悼 篠田一士〉
1280. 『フランス革命の肖像に寄せて』フランス革命200年記念ブックフェア・パンフレット, フランス革命関連図書刊行会主宰
1281. 『物語を読む声』母の友, 第433号
1282. 『ラスキンとブルースト(3)』ラスキン文庫たより 第14号
1282. 『夢と現実の掛け橋—「女優岩下志麻の魔術について」』『日本映画ベスト150』文春文庫【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
6月14日
1283. 『美しい町五たび』神戸新聞 夕刊
6月18日
1284. 『迫力のある〈明暗〉解説』書評(坂口曜子『蹟きとしての文学』), 信濃毎日新聞
6月28日
1285. 『美しい町六たび』神戸新聞 夕刊
7月

1286. 『時を越えた者へ—阿部昭を悼む』 海燕
1287. 『冒険の向こう側, こちら側—「レネットとミラベル」』 上映パンフレット【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1288. 『桃』 音楽芸術【収録誌】『楽興の時十二章』音楽之友社, 1990年11月10日(平成2)
7月5日
1289. 『フランス革命と歴史理性と』 学燈〈フランス革命二百周年〉
7月6日
1290. 『フランス革命の光と影』『フランス革命 200年記念映画祭』, フランス革命 200年記念映画祭実行委員会編集・勅使河原プロダクション発行
7月10日
1291. 『絵と音の対話—あとがき—』 辻邦生編『絵と音の対話』音楽之友社
1292. 刊行: 辻邦生編『絵と音の対話』(エッセー集) 名随筆選〈音楽の森3〉シリーズ, 音楽之友社
1293. 『音楽と絵画の会おう場所』(原題「く美」の現われる場所) 辻邦生編『絵と音の対話』音楽之友社【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
7月25日
1294. 『文化, その二つの視座について』対談(天谷直弘), HUMAN STUDIES 第3号, 電通総研発行
7月29日
1295. 『冒険(アヴァンチュール)の向こう側 こちらがわ』 CINE VIVANT No.34「四つの冒険・クレールの膝」上映パンフ, シネセゾン発行
7月30日
1296. 『夏休み 私が薦めるこの一冊』信濃毎日新聞
8月
1297. 『音楽図書館の代りに』推薦文, 『ラルース世界音楽事典』内容見本【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
1298. 『たんぽぽ』音楽芸術【収録誌】『楽興の時十二章』音楽之友社, 1990年11月10日(平成2)
8月20日
1299. 『悲劇の皇帝を通して転換期の現代を象徴』朝日新聞〈自作再見—『背教者ユリアヌス』〉
9月
1300. 『ある豊饒なダンディズムについて—豊崎光一を悼んで』文學界
1301. 『映画の中の読書, 読書の中の女—「読書する女」』上映パンフレット【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1302. 『辻邦生と〈フーシェ革命暦〉』インタビュー, すばる 9月号インタビュー文芸時評〈小説の読み方・作り方: 聞き手 富岡幸一郎〉
1303. 『夜の顔』睡蓮の午後・11, 海燕【収録誌】『水蓮の午後』福武書店, 1990年5月15日(平成2)
1304. 『私の好きな外国映画監督』キネマ旬報 9月下旬号 No.1,018
9月20日
1305. 『胸打つ孤独と郷愁』毎日新聞
10月
1306. 『山王花下美人図』文學界【収録誌1】『江戸切絵図貼交屏風』文藝春秋, 1992年7月30日(平成4)【収録誌2】『山王花下美人図』(韓国語訳)1989年12月(平成1)【放送】「NHK第1ラジオ日曜名作座」出演・森繁久弥と加藤道子, 1994年1月30日(平成6)【収録誌3】『江戸切絵図貼交屏風』文春文庫, 1995年9月10日(平成7)

1307. 『全人的教化の道一提言』 進研ニュース 中学版, 福武書店
10月13日
1308. 『小説の光景』 新潮社文化講演会【収録誌】思想, 1990年2月(平成2)
10月14日
1309. 『雪の日の撮影から一片山撰三氏と肖像写真をめぐって』 <片山撰三写真展> 一モノクロームの軌跡50年, 福岡県立美術館編集・発行
10月20日
1310. 『すべてに先んじて〈詩〉であること』 フランス堂通信 28
1311. 『私と村一現実と夢の楽園』 東京新聞, 夕刊
11月
1312. 『駅の発車ベルに関するアンケート』 AMENITY, 第7号
1313. 『マーラー偏愛の行方』 フランクフルト放送交響楽団日本公演プログラム【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
11月5日
1314. 『アレキサンドリア時代の予感』 日本経済新聞
11月11日
1315. 『小さな旅から大きな旅へ』 講演, 於・芝abcホール, JTB 広報部主催【収録誌1】『“旅”文化・人・自然との出会い』旅行文化講演会抄録集, 日本交通公社, 1992年10月30日(平成4)【収録誌2】『言葉が輝くとき』文藝春秋, 1994年8月10日(平成6)
11月20日
1316. 『歌なるものの心—西行の歌と現実のかかわりについて』 国文学
11月24日
1317. 『四〇年の悪夢から醒めるドイツ, 欧州, そして世界』 鼎談(鹿取泰衛, 高橋進) 朝日ジャーナル
<ドイツのうねり 世界史の奔流>
11月27日
1318. 『このごろ』 インタビュー, 毎日新聞
12月
75. 刊行: “The SIGNORE” 講談社 インターナショナル (Stephen Snyder による『安土往還記』の英訳)
12月3日
1319. 『アンケート回答』 信濃毎日新聞
1990年1月(平成2)
1320. 『雨の夜から始まる話①』 ファルス連作『天使の鼓笛隊』・第一話, ちくま No.226~227【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
1321. 『ある青春のオデュッセイア』 別冊 文藝春秋 190号
1322. 『過去への限りなき愛惜』 Voice 通巻145号 <名画の余韻 ①シャガール夢の哀しみ>
1323. 『地上へ愛をこめて—「ニュー・シネマ・パラダイス」』 マリー・クレール【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1324. 『手』 睡蓮の午後・12, 海燕【収録誌】『水蓮の午後』福武書店, 1990年5月15日(平成2)
1325. 『時を刻む鐘』 あけぼの <聖なるものへの旅 第1回>
1326. 『無題: 推薦文—ジュリアン・グリーン <パリ> 田辺保訳』 Catalogue 1990, 青山社
1月9日
1327. 『私的一本 <ノスタルジア> 1983年』 サンケイ新聞

1月19日

1328. 『豊かな想像力を駆使したい』朝日ジャーナル 特集：90年代そして21世紀 揺らぐか国境という神通力

2月

1320. 『雨の夜から始まる話②』ファルス連作『天使の鼓笛隊』・第二話, ちくま No.227 【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)

1308. 『小説の光景—フィクションの位置と記述の映像化の意味』思想

1329. 『なつかしい記憶』新潮 <追悼特集・開高健>

1330. 『〈物の魅惑〉に憑かれた友』文學界 <追悼・開高健>

1331. 『ラヴェンナの朝』あけぼの <聖なるものへの旅 第2回>

2月3日

1332. 『愛の旅・魂の帰還』中日新聞 <シャガール展>

2月10日

1333. 『甦るローマ帝国の影』Aera 臨時増刊号 <社会主義の仮面がおちて東欧の素顔が見えてきた>

2月16日

1334. 『無題(映画ピーター・ウィアー監督「今を生きる」推薦文)』朝日新聞 広告欄

3月

1335. 『“The Night of Hunter”—名優C・ロートン唯一の監督作に観る悪夢の装置としての矛盾—』new FLIX 1990年 プレ創刊号 【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)

1336. 『生きること, 詩を読むこと—「いまを生きる」』マリー・クレール 【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)

1337. 『北イタリア放浪』あけぼの <聖なるものへの旅 第3回>

1338. 『孤独な冬の夜のなかで』グラフこうふ No.17 <市制100周年記念 甲府の自然>, 山梨県甲府市発行・ぎょうせい制作

1339. 『青春とともにあった夏』グラフこうふ No.17 <市制100周年記念 甲府の自然>, 山梨県甲府市発行・ぎょうせい制作

1340. 『桃源郷を夢みるどころ』グラフこうふ No.17 <市制100周年記念 甲府の自然>, 山梨県甲府市発行・ぎょうせい制作

1341. 『庭を耕す人の話①』ファルス連作『天使の鼓笛隊』・第二話, ちくま No.228 【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)

1342. 『葡萄狩りの記憶』グラフこうふ No.17 <市制100周年記念 甲府の自然>, 山梨県甲府市発行・ぎょうせい制作

1343. 『美南見高樓図前後』文學界 【収録誌1】『江戸切絵図貼交屏風』文藝春秋, 1992年7月30日(平成4) 【放送】「NHK第1ラジオ 日曜名作座」出演・森繁久弥と加藤道子, 1994年2月6日(平成6)

3月30日 【収録誌2】『江戸切絵図貼交屏風』文春文庫, 1995年9月10日(平成7)

1344. 『世紀末ウィーンをめぐる—ブルジョアジーの文化』連載対談I (飯田善国とサントリー・ホールで) 「マーラー交響曲連続演奏会」第5回プログラム, アルク出版企画編集

4月

1345. 『ある復活祭の夜に』あけぼの <聖なるものへの旅 第4回>

1346. 『桜を待つ頃』清春 11号 <清春芸術村十周年記念号>

1341. 『庭を耕す人の話②』ファルス連作『天使の鼓笛隊』・第二話, ちくま No.229 【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)

1347. 『〈美〉の創造をめぐる』対談(古谷いずみ), 音楽の友

4月20日

1348. 『解説—夏目漱石〈門〉』岩波文庫【収録誌】『漱石文学作品集 10 門』岩波書店, 1990年11月19日(平成2)

1349. 『渴いた者の泉』推薦文, 『増補改訂 新潮世界文学辞典』内容見本【収録誌】朝日新聞の広告(抄録掲載)1990年4月23日に抄録

5月

1350. 『鈴蘭の頃 パリで』あけぼの〈聖なるものへの旅 第5回〉

1351. 『旅のなかの肖像①—芭蕉』郵政〈人物〉シリーズ

1352. 『東京に詩を感じるとき』マリー・クレール【収録誌】『私の二都物語—東京・パリ』中央公論社, 1993年7月30日(平成5)

1341. 『庭を耕す人の話②』ファルス連作『天使の鼓笛隊』・第二話, ちくま No.229【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)

1353. 『リルケへの歩み』『リルケ全集 全10巻』内容見本, 河出書房新社【収録誌】『リルケ全集 全10巻』第2巻帯, 河出書房新社, 1990年9月20日(平成2)

5月11日

1354. 『私の近況』談話, 東京新聞 夕刊

5月15日

1355. 『あとがき—〈睡蓮の午後〉』『睡蓮の午後』福武書店

1356. 刊行:『睡蓮の午後』福武書店

5月19日

1357. 『松本 わが青春』講演, 於・あがたの森文化会館, NHK文化センター松本教室主催【収録誌】『言葉が輝くとき』文藝春秋, 1994年8月10日(平成6)

5月30日

1358. 『詩的生成力について—〈アンナ・カレーニナ〉を讀んだ頃』『集英社ギャラリー 世界の文学 14 ロシア・I』月報

1359. 『旅について—あとがきにかえて—』『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 第三文明社,

1360. 刊行:『地中海幻想の旅から』レグルス文庫(第三文明社)

6月

1361. 『アンケート回答』new FLIX Vol. 1

1341. 『庭を耕す人の話④』ファルス連作『天使の鼓笛隊』・第二話, ちくま No.231【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)

1362. 『ロマネスクを訪ねた頃』あけぼの〈聖なるものへの旅 第6回〉

6月

1363. 『極言の中 見つめる生と死』毎日新聞〈シリーズ私の新古典〉

6月6日

1344. 『世紀末ウィーンをめぐる—アウトサイダーの文化』連載対談Ⅱ(飯田善国とサントリー・ホールで), 『マーラー交響曲連続演奏会』第6回プログラム, アルク出版企画編集

6月20日

1364. 『ロシアにおける〈聖なるもの〉—大沢宏孝の思い出に—』ロシア手帖 第30号, ロシア手帖の会 編集・発行

6月25日

1365. 『あとがき—スペインのかげり』『スペインのかげり』阿部出版

1366. 刊行:『スペインのかげり』阿部出版

7月

1367. 『イデオロギーを捨て生命の流れに身を委ねよ』談話（聞き手：中田浩二），Voice 通巻151号
〈21世紀へのコンセプト〉
1368. 『黒いドレスの女①』ファルス連作『天使の鼓笛隊』・第三話，ちくま No.232~235【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房，1992年6月25日（平成4）
1351. 『旅のなかの肖像②—ゲーテ』郵政〈人物〉シリーズ
1369. 『夏の白い光の下』あけぼの〈聖なるものへの旅 第7回〉
1370. 『二都生活者の十年から』波
1371. 『春にパリで思ったこと』新潮
1372. 『湯島妻恋坂心中異聞①』文學界【収録誌1】『江戸切絵図貼交屏風』文藝春秋，1992年7月30日（平成4）【収録誌2】『江戸切絵図貼交屏風』文春文庫，1995年9月10日（平成7）
- 7月20日
1373. 『あるアフリカの肖像』講演，『宗教文明叢書 ②アフリカとの対話』春秋社，聖心女子大学キリスト教文化研究所 編
- 7月22日
1374. 『夏休み 私が薦めるこの一冊』信濃毎日新聞
- 7月25日
1375. 『あとがき—〈永遠の書架にたちて〉』『永遠の書架にたちて』新潮社
1376. 刊行：『永遠の書架にたちて』新潮社
- 8月
1377. 『崩れゆくものの裏と表—「五月のミル」』new FLIX【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋，1993年7月25日（平成5）
1368. 『黒いドレスの女の話②』ファルス連作『天使の鼓笛隊』・第三話，ちくま No.233【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房，1992年6月25日（平成4）
1378. 『人間存在への信仰告白』推薦文，『17・18世紀大旅行叢書』内容見本，岩波書店
1379. 『ブルゴーニュの星座(1)』あけぼの〈聖なるものへの旅 第8回〉
1380. 『湯島妻恋坂心中異聞②』文學界【収録誌1】『江戸切絵図貼交屏風』文藝春秋，1992年7月30日（平成4）【収録誌2】『江戸切絵図貼交屏風』文春文庫，1995年9月10日（平成7）
1381. 『私のすすめる奇書—この1冊〈サンシモン公回想録〉』文學界
- 8月1日
1382. 『思索と絵画の対話—コクトー・アラゴン〈美をめぐる対話〉』季刊文藝 秋季号〈随筆〉
- 8月3日
1383. 『信州に学んだころ』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
- 8月10日
1384. 『信州にあこがれる心』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
- 8月17日
1385. 『信州の美しさ』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
- 8月24日
1386. 『美と秩序の行方』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
- 8月25日
1387. 『〈フレンチカンカン〉は世紀末を踊る』講演（於アテネフランセ文化センター），シネクラブ時代（トーク・セッション 淀川長治・蓮実重彦編），フィルムアート社
- 8月31日

1388. 『ある夏クレルモンで』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月
1389. 『エッセーを試する気持ち』 新刊ニュース No.482
1390. 『オデッセイのように駆け巡った日々』 正論〈回想・私の終戦前後〉
1368. 『黒いドレスの女の話③』 ファルス連作『天使の鼓笛隊』・第三話, ちくま, No.234【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
1379. 『ブルゴーニュの星座(2)』 あけぼの〈聖なるものへの旅 第9回〉
1391. 『憂愁と至福の対話』 月刊 モーツァルト・クラブ【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
9月7日
1392. 『夏と父と座禅』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月10日
1393. 『あとがき—〈シャルトル幻想〉』『シャルトル幻想』, 阿部出版
1394. 刊行: 『シャルトル幻想』 短篇小説集, 阿部出版
9月14日
1395. 『知る喜びのために』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月20日
1396. 『人生における〈微笑〉の役割』 解説, アラン『幸福論』串田孫一・中村雄二郎訳, 白水社イデ一選書(帯にも)
9月21日
1397. 『読書の秋に寄せて』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月28日
1398. 『パリ短信(1)』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月
1399. 『荒れた海辺への祈り』 あけぼの〈聖なるものへの旅 第10回〉
1368. 『黒いドレスの女の話④』 ファルス連作『天使の鼓笛隊』・第三話, ちくま, No.235【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
1351. 『旅のなかの肖像(3)—西行』 郵政〈人物〉シリーズ
1400. 『ナポレオン神話と実像』 対談(両角良彦), 歴史読本ワールド
1401. 『モジリアニの悲しみ』(原題「ある高貴な意志について」), モディリアーニ【収録誌1】『モディリアーニモンパルナスの肖像画』(日本IBM美術スペシャル記念出版, 限定配付), 日本IBM, 1990年10月1日(平成2)【収録誌2】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
1402. 『リルケの歳月』 信州の旅 No.74 1990年秋号
1403. 『わが心の秋の歌』 L & G通巻34号, パッセンジャー・サービス発行
10月5日
1398. 『パリ短信(2)』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月8日
1404. 『第17回大仏次郎賞選評』 朝日新聞
10月12日
1405. 『パリから帰って(1)』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月15日
1406. 『辻邦生との一時間』 談, 富岡幸一郎『作家との一時間』(インタビュー集) 日本文芸社
10月19日

1405. 『パリから帰って(2)』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月21日
1407. 『宇達幻想』講演, 於・大和文華館 大和文華館主催【収録誌】『言葉が輝くとき』文藝春秋,
1994年8月10日(平成6)
10月22日
1408. 『詩を読む心』講演, 於・不二聖心女子学院 不二聖心女子学院主催【収録誌】『言葉が輝くとき』
文藝春秋, 1994年8月10日(平成6)
10月26日
1409. 『世界を変えること』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月
1410. 『秋の日々 パリで』あけぼの〈聖なるものへの旅 第11回〉
1411. 『ある暗殺者の運命①』ファルス連作『天使の鼓笛隊』第四話, ちくま No.236【収録誌】『天使の
鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
1412. 『存在していることへの限りない励まし』対談(小泉淳作), 月刊美術 第182号
1351. 『旅のなかの肖像④リルケ』郵政〈人物〉シリーズ
1413. 『文学対談』対談(中村真一郎), 中州通信 通巻52号(1990年8月28日信越放送用に収録したも
のの再録), リンドバーグ発行
11月2日
1414. 『「平和」理念の現実性』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月9日
1415. 『卒論の季節になって』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月10日
1416. 刊行:『楽興の時 十二章』短篇集, 音楽之友社
11月16日
1417. 『大学が果たすべきこと』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月17日
1344. 『世紀末ウィーンをめぐる一疎外と喪失の時代』連載対談Ⅲ(飯田善国とサントリー・ホール
で), 『マーラー交響曲連続演奏会』第7回プログラム, アルク出版企画編集
1418. 『旅と文学—漂泊する心の意味』講演, 第20回国語国文学会講演会【収録誌】国語国文論集 第20
号〈学会創設二十周年記念特集〉(要旨を収録), 学習院女子短期大学国語国文学会, 1991年3月20日
(平成3)
11月30日
1419. 『あとがき—遠い園生』『遠い園生』, 阿部出版
1420. 『世界の動きを作るもの』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1421. 刊行:『遠い園生』短篇小説集, 阿部出版
12月
1411. 『ある暗殺者の運命②』ファルス連作『天使の鼓笛隊』第四話, ちくま No.237【収録誌】『天使の
鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
1422. 『十八世紀の復権』『モーツァルト全集』第一巻【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年
10月25日(平成5)
1423. 『黒い森の冬の旅』あけぼの〈聖なるものへの旅 第12回〉
1424. 『パリの古い街角から』Esquire 日本版
12月7日

1425. 『渡航者一千万人時代』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
12月14日
1426. 『集団主義と個人主義』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
12月20日
1427. 『夢で織った美のタピスリー』 推薦文, 『フランス中世文学集1』 帯, 白水社
12月21日
1428. 『外人部隊の日本人』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
12月22日
1429. 『〈聖なるもの〉の道標のそばで—「太陽は夜も輝く」』 上映パンフレット【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
12月28日
1430. 『赤ちゃん実習によせて』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1991年1月1日(平成3)
1411. 『ある暗殺者の運命③』 フォルス連作『天使の鼓笛隊』第四話, ちくま No.238【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
1431. 『〈おれたちに明日はない〉のウォーレン・ビーティとフェイ・ダナウェイ』 new FLIX, Vol. 8
1432. 『回廊めぐる心』 あけぼの〈聖なるものへの旅 第13回〉
1433. 『西行花伝(一 序の巻)』 新潮(→1992.12, 21回掲載)【収録誌】『西行花伝』新潮社, 1995年4月30日(平成7)【放送】『西行花伝』花の巻, NHK・FM, 1997年1月2日(平成9), 雪の巻(1月3日)
1434. 『聖性の喪失の時代—「太陽は夜も輝く」「春のソナタ」「ヘンリー&ジューン 私が愛した男と女』婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1435. 『聖なる放蕩者の家で』 群像【収録誌】『黄金の時の滴り』講談社, 1993年11月29日(平成5)
1436. 『壮麗なイギリス音楽の輝き』(原題「壮麗なイギリス音楽の粹」) レコード藝術【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
1351. 『旅のなかの肖像⑤—紀貫之』 郵政〈人物〉シリーズ
1437. 『無量寺門前双蝶図縁起』 文學界【収録誌1】『江戸切絵図貼交屏風』文藝春秋, 1992年7月30日(平成4)【収録誌2】『江戸切絵図貼文屏風』文春文庫, 1995年9月10日(平成7)
1438. 『もう一度〈フランスわが旅〉を』 ミシュラン・ブルーガイド発行30周年記念パンフレット, 実業之日本社
1月4日
1439. 『人間という名の〈自然〉』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1月9日
1440. 『ツェッペリン号の最期』 山梨日日新聞
1月11日
1441. 『フランスからの手紙』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1月18日
1442. 『いま日本がやるべきこと』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1月24日
1443. 『フランスまでの長い旅路』(1991年9月4日にJ-Waveから放送される)『美しすぎる場所』
Japan Wave 編, 扶桑社発行
1444. 『パリで見つけた幸福』(1991年9月5日にJ-Waveから放送される)『美しすぎる場所』Japan Wave 編, 扶桑社発行
1445. 『イタリアの思い出』(1991年9月6日にJ-Waveから放送される)『美しすぎる場所』Japan Wave

編, 扶桑社発行

1446. 『インド幻想』(1991年9月6日にJ-Waveから放送される)『美しすぎる場所』Japan Wave編, 扶桑社発行
1447. 『南太平洋の旅から』(1991年9月6日にJ-Waveから放送される)『美しすぎる場所』Japan Wave編, 扶桑社発行
1月25日
1448. 『砂漠のハイテクの運命』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1月30日
1449. 『〈文学現象〉と〈私人〉の間—「辻邦生書誌年譜」序文にかえて』序文, 木村潔編『辻邦生書誌年譜』湯川書房
2月
1411. 『ある暗殺者の運命④』ファルス連作『天使の鼓笛隊』第四話, ちくま No.239【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
1450. 『女性時代の表と裏—「逃亡者」「ニキータ」「マッチ工場の少女」「女の復讐』婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1451. 『〈聖なるもの〉の行方—「太陽は夜も輝く」「みんな元気』new FLIX【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1452. 『解き放たれた石をめぐって』〈仏蘭久淳子展〉パンフレット, 吉井画廊出版部
1453. 『パリの新凱旋門を魅了した AIKO MIYAWAKI“ うつろい” の世界』家庭画報
1454. 『フランスの遙かな大地』あけぼの〈聖なるものへの旅 第14回〉
1455. 『古く新しい享受の道』推薦文, ビクター音響『映像による現代俳句の世界』全20巻内容見本
1456. 『ポンペイ遺跡を訪ねた頃』推薦文, 岩波書店『ポンペイの壁画』内容見本
2月1日
1457. 『井上靖氏の思い出』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1458. 『詩に生き満月の夜に死す—井上靖氏の訃報に接して』毎日新聞
2月8日
1459. 『釜ヶ崎の老人たち』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2月12日
1460. 『現代の短篇流行の背景』朝日新聞
2月15日
1461. 『反戦の声を聞こう』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2月22日
1462. 『テレビを読むこと』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月
1411. 『ある暗殺者の運命⑤』ファルス連作『天使の鼓笛隊』第四話, ちくま No.240【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
1463. 『映像の意味, 戦争の意味—「ニュー・シネマ・パラダイス」「尋問』婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1464. 『丘の上の家』群像【収録誌】『黄金の時の滴り』講談社, 1993年11月29日(平成5)
1465. 『地下墓所の魅惑』あけぼの〈聖なるものへの旅 第15回〉
1466. 『〈現代〉という人間無視の工場—「マッチ工場の少女』上映パンフレット【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1351. 『旅のなかの肖像⑥サマーセット・モーム』郵政〈人物〉シリーズ

1467. 『ビザンチン文化を鳥瞰して』「オックスフォード・ビザンツ事典」内容見本【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
1468. 『編纂にあたって』(編集委員代表で執筆)岩波書店『阿部昭全集 全13巻別巻1』内容見本
1469. 『戦争終結を聞いて』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月8日
1470. 『世界新秩序のなかで』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月15日
1471. 『平和を世界に語る時』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月20日
1472. 『桃滴舎と友情と』追悼文, 桃滴舎 No.72 〈今村俊三追悼号〉
1473. 『わが血脈のなかの甲斐の国』山梨県立文学館館報 第5号
3月22日
1474. 『仙洞御所で思ったこと』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月29日
1475. 『裁く者 裁かれる者』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月
1476. 『青いコート赤いコート①』ファルス連作『天使の鼓笛隊』・ちくま No.241【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
1477. 『井上靖一詩と物語の間』中央公論
1478. 『空気のヴェールを見た日』文學界〈追悼・井上靖〉
1479. 『言葉と音楽』対談(三善晃), 「国立劇場—第166回四月歌舞伎公演プログラム」日本芸術文化振興会発行
1480. 『自画像の奇跡』「清春」13号【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
1481. 『詩に生きた井上靖さんの人と文学』正論〈編集長インタビュー〉聞き手: 大島信三
1482. 『根津権現弦月図由来』文學界【収録誌1】『江戸切絵図貼交屏風』文藝春秋, 1992年7月30日(平成4)【収録誌2】『江戸切絵図貼交文屏風』文春文庫, 1995年9月10日(平成7)
1483. 『水辺の巡礼路で』あけぼの〈聖なるものへの旅 第16回〉
1484. 『物語時代の終り』新潮〈追悼特集・井上靖〉
1485. 『理想と幸福の間—「コントラクト・キラー」「インド夜想曲」「推定無罪」』婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1486. 『物語とカトリシズムの間—グレアム・グリーンの話報を聞いて』朝日新聞
4月5日
1487. 『なぜ大学で学ぶのか』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月6日
1488. 『生きることを好きにさせる力』神奈川近代文学館主催〈山本周五郎展〉図録, 神奈川文学振興会発行【収録誌】神奈川近代文学館 第32号, 神奈川文学振興会, 1991年4月15日(平成3)
4月12日
1489. 『昨今花見風景より』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月15日
1490. 『ギリシャの旅のあとで』朝日新聞 シリーズ〈こころ, 自分と出会う〉
4月18日
1491. 『詩とステーキの間』サライ〈特集・吉田健一の食文学入門〉
4月19日

1492. 『日ソ交流に望むこと』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月20日
1493. 『美に到る道』『美をめぐる対話』あとがき【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
1494. 刊行: 辻邦生訳『美をめぐる対話』コクトー/アラゴン, 筑摩書房
4月26日
1495. 『スピノザを学ぶ』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月30日
1496. 『高橋和巳没後20年』推薦文, 村井英雄著『書誌的・高橋和巳』帯, 阿部出版
5月
1476. 『青いコート赤いコート②』ファルス連作『天使の鼓笛隊』・ちくま No.242【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
1497. 『永遠の獵人』群像【収録誌】『黄金の時の滴り』講談社, 1993年11月29日(平成5)
1498. 『小説を書く手』文藝春秋
1351. 『旅のなかの肖像⑦池大雅』郵政〈人物〉シリーズ
1499. 『慎ましく在ること』あけぼの〈聖なるものへの旅 第17回〉
1500. 『二十世紀末とは何か』対談(樺山紘一), 本の窓〈特集:世紀末〉
1501. 『歴史のアイロニー—「アンボンで何が裁かれたか」「レナードの朝」「いつでも夢を」』婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
5月8日
1502. 『横長画面の鮮烈な構図—三隅研次の回顧上映』毎日新聞 夕刊【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
5月10日
1503. 『信濃の野の花』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1504. 『何よりも小説家であること』日中文化交流 No.485〈井上靖会長 追悼特集〉, 日本中国文化交流協会編集・発行
5月14日
1505. 『選評—第十四回マルコポーロ賞(1990)』『第十四回マルコポーロ賞パンフレット』, イタリア文化会館発行
5月17日
1506. 『愛がなければ幸福も』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月20日
1507. 『あとがき—〈時刻のなかの肖像〉』『時刻のなかの肖像』新潮社
1508. 刊行: 『時刻のなかの肖像』新潮社
5月24日
1509. 『「景観形成」と信州と』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月31日
1510. 『やさしさをこめた言葉』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
6月
1476. 『青いコート赤いコート③』ファルス連作『天使の鼓笛隊』・ちくま No.243【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
1511. 『西行をめぐる歲月』波
1512. 『仲間うちの言葉でなく—「ダンス・ウイズ・ウルブズ」「達磨はなぜ東へ行ったのか」』婦人之友

- 【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋，1993年7月25日（平成5）
1513. 『ノアン城のほとり』 あけぼの〈聖なるものへの旅 第18回〉
6月5日
1514. 『至芸の薫り—幸田弘子さんと「アネモネ」と—』 幸田弘子の会〈アネモネ・にごりえ〉，幸田弘子の会発行
6月7日
1515. 『静かな日曜日が終る?』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
6月9日
1516. 『山本周五郎の復権』 日本経済新聞
6月14日
1517. 『生まない意識をめぐって』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
6月20日
1518. 『見事な〈父の肖像〉—父・井上靖へのレクイエム』 推薦文，井上卓也著『グットバイ，マイ・ゴッドファーザー』 文藝春秋，帯
6月21日
1519. 『長野冬季五輪への思い』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
6月28日
1520. 『古い時代の教授たち』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
6月30日
1521. 『高橋和巳のために』 梅原猛・小松左京編『高橋和巳の文学とその世界』 阿部出版
6月30日
1522. 『バッハのなかに響くもの4』『J・S・バッハⅡ 管弦楽組曲第二番他』【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）
- 7月
1476. 『青いコート赤いコート④』 フェルス連作『天使の鼓笛隊』・ちくま No.244 【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房，1992年6月25日（平成4）
1523. 『アンボンで何が載かれたか』 Esquire 日本版
1524. 『三匹の小猿をめぐって—「エンジェル・アット・マイ・テーブル」「マルセルの夏」「グリーン・カード」』 婦人之友 【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋，1993年7月25日（平成5）
1525. 『書物—もう一つの現実』 月刊 Asahi〈書物の回廊①〉
1526. 『黄昏の門を過ぎて』 群像 【収録誌】『黄金の時の滴り』講談社，1993年11月29日（平成5）
1351. 『旅のなかの肖像⑧スタンダード』 郵政〈人物〉シリーズ
1527. 『ピレネーから来た彫刻家』 あけぼの〈聖なるものへの旅 第19回〉
1528. 『向島百花譜転生縁起』 文學界 【収録誌1】『江戸切絵図貼交屏風』文藝春秋，1992年7月30日（平成4）【放送】「NHK第1ラジオ 日曜名作座」出演：森繁久弥と加藤道子，1994年2月13日（平成6）【収録誌2】『江戸切絵図貼交屏風』文春文庫，1995年9月10日（平成7）
- 7月5日
1529. 『ル・マンのショック』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月7日
1530. 『生命の劇場としての〈声〉』 ヴィオロン文芸朗読会1周年記念号，日本シェイクスピア・グローブ・センター発行
7月10日
1531. 『グレン・ゲルドの結晶』（原題「私のゲルド・セレクション」）グレン・ゲルド大研究 【収

- 録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）
7月12日
1532. 『自然の不思議を見る目』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月19日
1533. 『「世界は一つ」の時代へ』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月20日
1534. 『井上文学の魅力』対談（佐伯彰一），毎日グラフ 別冊
7月26日
1535. 『森のなかで世界を思う』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月
1476. 『青いコート赤いコート⑤』ファルス連作『天使の鼓笛隊』・ちくま No.245 【収録誌】『天使の鼓
笛隊』筑摩書房，1992年6月25日（平成4）
1536. 『音楽をめぐる 1』対談（伊藤信平），音楽現代〈作家辻邦生が親しい友人に語る音楽観①〉
1537. 『可愛い悪女サロメ』あけぼのく聖なるものへの旅 第20回〉
1538. 『時代の見えない時代—「コルチャック先生」「令嬢ターニャ」「ゴッホ」「殺意のサンマルコ駅」
婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋，1993年7月25日（平成5）
1539. 『書物と暮らす至福の時』月刊 Asahi 〈書物の回廊②〉
1540. 『パリのカフェの魅力』ドゥ マゴ通信 No.5 Bunkamura, ドゥ マゴ 編輯・発行
1541. 『役者あそび 人生あそび』海燕 【収録誌】92年版ベストエッセー集『明治のベースボール』，文
藝春秋，1992年7月30日（平成4）
8月2日
1542. 『物の積み方 考え方』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月9日
1543. 『モーツァルトとともに』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新
潮社，1993年10月25日（平成5）
8月16日
1544. 『物と愛の言葉を交わすこと』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月23日
1545. 『ソ連の顔 ロシアの顔』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月24日
1546. 『1960年パリ青春』Cine Vivant No.45 〈獅子座〉上映プログラム，シネセゾン編集・発行
8月30日
1547. 『ネヴァ河の橋の上で』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月
1476. 『青いコート赤いコート⑥』ファルス連作『天使の鼓笛隊』・ちくま No.246 【収録誌】『天使の鼓
笛隊』筑摩書房，1992年6月25日（平成4）
1548. 『黄金の時の滴り』群像【収録誌】『黄金の時の滴り』講談社，1993年11月29日（平成5）
1536. 『音楽をめぐる 2』対談（伊藤信平），音楽現代〈作家辻邦生が親しい友人に語る音楽観②〉
1549. 『「グリーン・カード」の表と裏—「グリーン・カード」』new FLIX 【収録誌】『美しい人生の階
段』文藝春秋，1993年7月25日（平成5）
1550. 『現実と幻想のあいだ—「イン・ベッド・ウィズ・マドンナ」「バロック」「パッション・ベアトリ
ス」「シャボン泥棒』婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋，1993年7月25日（平成5）
1551. 『書物を持つという快楽』月刊 Asahi 〈書物の回廊③〉

1552. 『聖書を画像で語った頃』 あけぼの〈聖なるものへの旅 第21回〉
1351. 『旅のなかの肖像⑨石川啄木』 郵政〈人物〉シリーズ
1553. 『埴谷文学の根底の炎』 鳩よ! 〈特集：埴谷雄高の世界〉
9月6日
1554. 『物の積み方 考え方(二)』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月13日
1555. 『望月市恵先生のこと』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月20日
1556. 『限りなく天国に近い国?』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月27日
1557. 『新宗教ブームのかげに』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月
1476. 『青いコート赤いコート⑦』 ファルス連作『天使の鼓笛隊』・ちくま No.247 【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
1558. 『聖なる旅と孤独な死と—「冬の旅」』 婦人之友 【収録誌1】「朝日新聞」映画広告欄(推薦文の一部を掲載)朝日新聞, 1991年10月18日(平成3) 【収録誌2】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1559. 『聖なる夏の記憶』 あけぼの〈聖なるものへの旅 第22回〉
1560. 『“枕頭の書”を持つこと』 月刊 Asahi〈書物の回廊④〉
602. 『フーシェ革命暦 第三部』 別冊 文藝春秋 (→1993.7, 7回掲載)
1561. 『墨堤幻花夫婦屏風』 文學界 【収録誌1】『江戸切絵図貼交屏風』文藝春秋, 1992年7月30日(平成4) 【収録誌2】『江戸切絵図貼交屏風』文春文庫, 1995年9月10日(平成7)
1562. 『〈六角形の部屋〉 千宗之』 対談(北杜夫と), 短歌
10月2日
1563. 『ラテンアメリカの悲劇の根—「バロック」』 映画評, 朝日新聞 夕刊 【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
10月4日
1564. 『パリの街角から(I)』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月8日
1565. 『選評—第十八回大仏次郎賞』 朝日新聞
10月11日
1564. 『パリの街角から(II)』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月18日
1564. 『パリの街角から(III)』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月25日
1564. 『パリの街角から(IV)』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月25日
1566. 『辻邦生が読むものかんづめ』 朝日新聞〈読書特集(別刷り)〉
10月30日
1567. 『学びと遊び』 講演, 於・熊本メルパルクホール 小学館主催 【収録誌】『言葉が輝くとき』文藝春秋, 1994年8月10日(平成6)
- 11月
1476. 『青いコート赤いコート⑧』 ファルス連作『天使の鼓笛隊』・ちくま No.248 【収録誌】『天使の鼓

- 笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
1568. 『精神の共和国について』月刊 Asahi <書物の回廊⑤>
1569. 『堅琴を忘れた場所』群像【収録誌】『黄金の時の滴り』講談社, 1993年11月29日(平成5)
1351. 『旅のなかの肖像⑩ R. L. スティーヴンソン』郵政 <人物> シリーズ
1570. 『遠く去る星雲を望む思い』Poetica 第2号 <特集: 篠田一士>, 小沢書店
1571. 『星ヶ丘の小さな教会』あけぼの <聖なるものへの旅 第23回>
1572. 『ライン河畔の静かな町で—「あの夏一番静かな海」「ピストルと少年」「真実の瞬間」』婦人之友
【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
- 11月1日
1573. 『ペイルートからの証言』信濃毎日新聞 夕刊 <今日の視角>
- 11月8日
1574. 『自然の暴威の前で』信濃毎日新聞 夕刊 <今日の視角>
- 11月15日
1575. 『線と面—空間の指標』信濃毎日新聞 夕刊 <今日の視角>
- 11月22日
1576. 『二十一人のリーダーたち』信濃毎日新聞 夕刊 <今日の視角>
- 11月26日
1577. 『パリ時代の私』講演, 於・早稲田大学 早稲田大学文芸学科主催早稲田文学【収録誌1】早稲田大学, 1992年3月1日(平成4)【収録誌2】『言葉が輝くとき』文藝春秋, 1994年8月10日(平成6)
- 11月29日
1578. 『なぜ理想を掲げないのか』信濃毎日新聞 夕刊 <今日の視角>
- 12月
1476. 『青いコート赤いコート⑨』ファルス連作『天使の鼓笛隊』・ちくま No.249【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
1579. 『思い出のフランス女優』new FLIX vol.18
1580. 『オルフィスの鎮魂』my MOZART【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
1581. 『書物が書物だったとき』月刊 Asahi <書物の回廊⑥>
1582. 『世界の風に吹かれて—「無防備都市 ペイルートからの証言」「ミシシッピー・マサラ」「トト・ザ・ヒーロー」』婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1583. 『もう一人のピレネの巨匠』あけぼの <聖なるものへの旅 第24回>
1584. 『わが <恩師> の小説集成に寄せて』推薦文, 新潮社『中村真一郎小説集成全13巻』内容見本
- 12月6日
1585. 『五十年目の反省』信濃毎日新聞 夕刊 <今日の視角>
- 12月10日
1586. 『わがパリの顔 第1回』ドゥ マゴ通信 No.7 Bunkamura (→1994. 6, 12回掲載), ドゥ マゴ 編集・発行【収録誌】『私の二都物語—東京・パリ』中央公論社, 1993年7月30日(平成5)
- 12月13日
1587. 『太平洋戦争の映像を見て』信濃毎日新聞 夕刊 <今日の視角>
1588. 『ヌード修正がワイセツになる場合—「美しき諷い女」』毎日新聞【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
- 12月20日
1589. 『相手の幸福を願うこと』信濃毎日新聞 夕刊 <今日の視角>

12月20日

1590. 刊行：“my MOZART”（写真：木之下晃）小学館

12月27日

1591. 『蜷川忠臣蔵の一夜』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1992年1月（平成4）

1592. 『幻視のなかのカーニバル—小瀧達郎〈VENEZIA〉に寄せて』マリー・クレール No.110

1593. 『古文書の怪に憑かれた人』新潮〈追悼・北小路健〉

1594. 『世紀末の憂愁の中で—「マルセルのお城」「髪結いの亭主」「美しき諍い女』婦人之友【収録誌】

『美しい人生の階段』文藝春秋，1993年7月25日（平成5）

1351. 『旅のなかの肖像①夏目漱石』郵政〈人物〉シリーズ

1595. 『ダマスカスにて』あけぼの〈パウロの道に沿って—第1回〉

1596. 『小さな食卓で書かれた手紙』群像【収録誌】『黄金の時の滴り』講談社，1993年11月29日（平成5）

1597. 『パッハのなかに響くもの5』（原題「温かさへの郷愁から」）レコード藝術【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）

1598. 『無題—広辞苑（第四版）推薦文』推薦文，『広辞苑（第四版）』内容見本

1月8日

1599. 『美は不易か流行か』日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉

1月10日

1600. 『愛するとき美は育つ』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1601. 『お喋りという贈りもの』新潮社『開高健全集第2巻』月報

1602. 『パリ学生生活今昔ばなし』大学と学生 第315号，第一法規出版

1月17日

1603. 『ミコーバー氏の言葉』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1月22日

1604. 『生きるためのコート』日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉

1605. 『歌のプリズムの光』望月義子歌集『西瓜色の夕やけ』（折込に所収），短歌新聞社

1月23日

1606. 『ある時代の終り—個人主義の閉塞状況打開へ』読売新聞，夕刊

1月24日

1607. 『意識の中の構造計画』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1月27日

1608. 『モーツァルトの泉』サントリーホールで開催，NHK交響楽団モーツァルト・シリーズ第17回

「モーツァルトとヘンデルの世界」プログラム【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）

1月29日

1609. 『変る美 変る時代』日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉

1月31日

1610. 『ケネディの暗殺者たち』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

2月

1611. 『映画と映画論のあいだ—「木漏れ日」「ボンヌフの恋人」「夢の果てまでも』婦人之友【収録誌】

『美しい人生の階段』文藝春秋，1993年7月25日（平成5）

1612. 『使途に足らぬ者』あけぼの〈パウロの道に沿って—第2回〉

1613. 『神仙三圖初午扇』文學界【収録誌1】『江戸切絵図貼交屏風』文藝春秋, 1992年7月30日(平成4)【放送】『NHK第1ラジオ 日曜名作座』出演: 森繁久弥と加藤道子, 1994年2月20日(平成6)【収録誌2】『江戸切絵図貼交屏風』文春文庫, 1995年9月10日(平成7)
1614. 『西欧的なるものをめぐって』対談(須賀敦子), マリー・クレール
1615. 『薔薇の時間 花の時間』小原流插花〈特集: 記憶の中の花〉
2月5日
1616. 『文学の流行を占えば』日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉
2月7日
1617. 『トーマス・マンを通して見たワーグナー』講演, 於・ドイツ文化センター 日本ワーグナー協会 主催【収録誌】『言葉が輝くとき』文藝春秋, 1994年8月10日(平成6)
1618. 『ゆとり時代の好奇心』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2月8日
1619. 『西行における美の宿命—西行23歳の旅立ち』放送, NHK教育TV「ひとを語る」【収録誌】『言葉が輝くとき』文藝春秋, 1994年8月10日(平成6)
2月10日
485. 『霧の聖マリ』短篇小説集, 中公文庫
1620. 『文庫版あとがき—霧の聖マリ』『霧の聖マリ』中公文庫
2月12日
1621. 『ささやかな音楽遍歴』日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
2月14日
1622. 『食事の楽しさと底力』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2月15日
1619. 『わたしと西行<いのちを詠む>』放送, NHK教育TV「ひとを語る」【収録誌】『言葉が輝くとき』(改題「西行における美の宿命」)文藝春秋, 1994年8月10日(平成6)
2月19日
1623. 『時代様式と生命感と』日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉
2月21日
1624. 『海辺の眺めから』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2月26日
1625. 『美の山河を越えて』(原題「ささやかな美の遍歴」)日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
2月28日
1626. 『親切心とクールさと』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月
1627. 『青空の彼方へ』群像【収録誌】『黄金の時の滴り』講談社, 1993年11月29日(平成5)
1628. 『映像の幸福, モードの幸福—「都市とモードのビデオモード」』上映パンフレット【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1629. 『エフェソスの白い石』あけぼの〈パウロの道に沿って—第3回〉
1630. 『危機に目覚める良心—「JFK」「ジャック・ドウミの少年期」「都市とモードのビデオモード」』婦人友【収録誌1】『友 Iwanami Hall』通巻258号(改題「いつもながら美しいヴァルダの映像」), 1992年11月(平成4)【収録誌2】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1631. 『選評—第五回ピーコ・デッラ・ミンドラ賞(1991)』『第五回ピーコ・デッラ・ミンドラ賞』, イ

タリア文化会館発行

1632. 『選評—第十五回マルコポーロ賞 (1991)』『第十五回マルコポーロ賞パンフレット』, イタリア文化会館発行
1351. 『旅のなかの肖像⑫ドストエフスキー』郵政〈人物〉シリーズ
1633. 『美の遍歴から—〈嵯峨野明月記〉を書いた頃』「辻邦生『嵯峨野明月記』によせて描く三人展」案内状
3月4日
1634. 『絵画修復の前とあと』日本経済新聞【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日 (平成5)
3月6日
1635. 『ある思索への導き』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月11日
1636. 『夢殿が赤かったとき』日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉
3月13日
1637. 『小学校が消滅する日』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月18日
1638. 『永遠の影を見る瞬間』日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日 (平成5)
3月24日
1639. 『映画推薦文—〈夢の果てまでも〉』朝日新聞広告
3月25日
1640. 『かくも美しく悲しく』日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日 (平成5)
3月26日
1641. 『わがノスタルジー図書館』『日本図書館協会の百年』(1892~1992)
3月27日
1642. 『映画「ひかりごけ」の問題』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月28日
1643. 『映像の幸福 モードの幸福』Chanter Cine 2 No.26「都市とモードのビデオノート」上映プログラム, フランス映画社発行
4月
1644. 『現実の力, ユメの力—「豚と天国」「悲しき酒場のバラード」「ボヴァリー夫人」』婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日 (平成5)
1645. 『古代異教のはざままで』あけぼの〈パウロの道に沿って—第4回〉
4月1日
1646. 『イカロス失踪の瞬間』日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日 (平成5)
4月3日
1647. 『フランス社会党の終わり』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月4日
1648. 『芥川のなかのフランス文学』『芥川龍之介展図録』神奈川文学振興会発行
4月6日
1649. 『演劇熱のプロフィール—季節の鏡 街の鏡①』山形新聞, 他12地方紙

4月8日

1650. 『見えるもの見えないもの』 日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日 (平成5)

4月10日

1651. 『未だ書かれざる小説の余白に』 季刊 MOA美術 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日 (平成5)

1652. 『オーバピー氏の手紙』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

513. 刊行: 『夏の海の色』 短篇小説集, 中公文庫

4月15日

1653. 『セザンヌのなかの永遠』 日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日 (平成5)

4月17日

1654. 『新学期の風景から』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

4月20日

1655. 『あとがき—〈遙かなる旅への追想〉』 『遙かなる旅への追想』 新潮社

1656. 『世紀末の宿命』 (原題「19世紀末と20世紀末」) 第82回朝日ゼミナールパンフレット 【収録誌】

『遙かなる旅への追想』 新潮社, 1992年4月20日 (平成4年)

1657. 刊行: 『遙かなる旅への追想』 エッセー集, 新潮社

4月21日

1658. 『始原の歌を追って』 (原題「山川の音 始原のうた」) SYMPHONY No.381 東京交響楽団発行 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日 (平成5)

4月22日

1659. 『プルーストに見る至福の味』 日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉

4月23日

1660. 『映画推薦文—〈ひかりごけ〉』 推薦文, 週刊文春 文藝春秋70周年特別号

4月24日

1661. 『過情報時代を生きるコツ』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

4月30日

1662. 『〈ふたりのクニオ〉の記』 『小川国夫全集 1』 付録, 小沢書店

5月

1663. 『書く快樂の自画像—スタンダール「書いた, 愛した, 生きた」をめぐって』 マリー・クレール 第114号

1664. 『寂しい地球の上で—「ナイト・オン・ザ・プラネット」「わが街」「ふたりのベロニカ」』 婦人之友 【収録誌】『美しい人生の階段』 文藝春秋, 1993年7月25日 (平成5)

1665. 『しなやかな知的ダンディズム—今泉文子〈ミュンヘン 倒錯の都〉を読んで』 ちくま No.254

1666. 『書簡—サドの素顔を映す鏡』 推薦文, アリス・M・ラポルド編『サド侯爵未刊書簡集・資料集全30巻』内容見本, 臨川書店

1351. 『旅のなかの肖像⑬北原白秋』 郵政〈人物〉シリーズ

1667. 『花々の流れる場所』 群像 【収録誌】『黄金の時の滴り』 講談社, 1993年11月29日 (平成5)

1668. 『ピリピまでの道』 あけぼの〈パウロの道に沿って—第5回〉

5月1日

1669. 『信州の森の中で思うこと』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

5月6日

1670. 『オルフォイスの歌を聴け』 日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉
5月8日
1671. 『ある映画が描く背後の闇』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1672. 『荷風の頃の人』『荷風全集 第5巻』月報1 岩波書店
1673. 『花—舞台に偏在するもの』鏡仙, 鏡仙会 第402号
5月9日
1674. 『御柱祭の綱を曳いて』 信濃毎日新聞
5月10日
1675. 刊行: 『風の琴 二十四の絵の物語』 短篇小説集, 文春文庫
1676. 『文庫版のためのあとがき—風の琴』『風の琴』, 文春文庫
5月13日
1677. 『キリーロフ戦慄』 日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉
5月14日
1678. 『無題: 解説—「世界の中の川端康成—日本近代文学館創立30周年記念—』『没後20年 川端康成 展図録』 日本近代文学館発行
5月15日
1679. 『ある週刊誌の終刊によせて』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月20日
1680. 『永劫に回帰する私』 日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉
5月22日
1681. 『映画推薦文—〈シティ・オブ・ジョイ〉』 推薦文, 朝日新聞広告 別刷りGセクション
1682. 『生活管理と時間の作り方』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月23日
1683. 『至福の逆説—〈シティ・オブ・ジョイ〉を見る』 推薦文, 読売新聞 ヴァリエテ欄広告
5月27日
1684. 『至福体験のメカニズム』 日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉
5月29日
1685. 『まだものが言えるあいだに』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1686. 『無題: 推薦文—石 寒太〈句集 翔 Sho〉』 石 寒太句集『翔 Sho』(限定版) 帯, ふらんす堂
5月30日
- 6月
75. “OSIGNORE” (『安土往還記』のポルトガル語訳), Gradiva 社 (リスボン)
1687. 『絵画から吹く風』(原題「絵画までの道 絵画からの道」) これだけは知っておきたい世界の名画と巨匠50人【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
1688. 『孤独をあたためるもの—「愛人/ラマン」「仕立屋の恋」「ラヴィ・ド・ポエム』 婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』 文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1689. 『ジャムのいる夏』手塚伸一訳『フランシス・ジャム全詩集 全一卷』内容見本, 青土社
1690. 『テサロニケに立ちて』あけぼの 〈パウロの道に沿って—第6回〉
1691. 『懐かしい地球へのラブコール—「ナイト・オン・ザ・プラネット」』 マリー・クレール【収録誌】『美しい人生の階段』 文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1692. 『21世紀に贈る発見の美術館—〈世界美術大全集〉の刊行を前に』対談(高階秀爾), 本の窓〈特集: 世界の美術〉
6月1日

1693. 『アップダイクの書評』 リテレール 創刊号 1992年夏号, メタログ
6月3日
1694. 『芭蕉のなかの永遠』 日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉
6月5日
1695. 『生活大国の基本とは』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
6月7日
1649. 『能と古典と若者と一季節の鏡 街の鏡②』 徳島新聞, 他8地方紙
6月10日
1696. 『永遠を仰ぎみた日』 日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉
637. 刊行: 『雪崩のくる日』 短篇小説集, 中公文庫
6月12日
1697. 『歴史を身近に生きる法』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
6月17日
1698. 『インドの無時間の魅力』 日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉
6月19日
1699. 『ある看護婦たちの記録』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
6月20日
1700. 『絵画までの道 絵画からの道』 別冊家庭画報 中山公男監修〈これだけは知っておきたい世界の
名画と巨匠50人〉, 世界文化社
6月23日
1701. 『信州の財産生かし 美しい街のモデルを』 鼎談 (中野孝次, 鈴木博之), 信濃毎日新聞
6月24日
1702. 『南太平洋の夕日の中で』 日本経済新聞 夕刊〈アーバンNOW—プロムナード〉 (末尾に「永遠と
瞬間のための断章・終り」の記述あり)。
6月25日
1703. 刊行: 『天使の鼓笛隊』 短篇小説集, 筑摩書房
6月26日
1704. 『時計時間と生命時間』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
6月27日
1705. 『芭蕉の始まり 芭蕉の終わり』 講演, 於・学習院大学学習院大学国文学会主催【収録誌】『言葉が
輝くとき』文藝春秋, 1994年8月10日 (平成6)
- 6月28日
1706. 『デュラスの近さデュラスの遠さ—デュラス著〈愛人〉評』 朝日新聞〈ほん 時代 ひと〉シリーズ
7月
1707. 『^{アゴラ}広場と^{オikos}家庭のあいだ』 あげぼの〈パウロの道に沿って—第7回〉
1708. 『書簡—杉本春生宛て』『杉本春生全集 全五巻』内容見本, 沖積舎
1709. 『女性の声, 社会の声—「フライド・グリーン・トマト」「シティ・オブ・ジョイ」「ハワーズ・エ
ンド』』 婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日 (平成5)
1351. 『旅のなかの肖像④ディケンズ』 郵政〈人物〉シリーズ
1710. 『反語として文化を見ること』 ほんとうの時代 通巻21号, PHP研究所発行
1711. 『武州浮城美人図下絵』 文學界【収録誌1】『江戸切絵図貼交屏風』文藝春秋, 1992年7月30日
(平成4)【収録誌2】『江戸切絵図貼文屏風』文春文庫, 1995年9月10日 (平成7)
7月1日

1712. 『雷蔵ブームはなぜ?』季刊 FLIX Vol. 1, ビクター音楽産業株式会社発行
7月3日
1713. 『高齢化社会の入り口で』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月10日
1714. 『京都の美と国際的責任』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月17日
1715. 『排ガスと紫煙の間』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月24日
1716. 『ある一つの不滅の名前』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月30日
1717. 『藍いろに暮れてゆく江戸に―「あとがき」にかえて』『江戸切絵図貼交屏風』文藝春秋【収録誌】『江戸切絵図貼交屏風』文春文庫, 1995年9月10日(平成7)
1718. 刊行:『江戸切絵図貼交屏風』短篇小説, 文藝春秋
7月31日
1719. 『あとがき―〈黄昏の古都物語〉』『黄昏の古都物語』有学書林
1720. 『個人と連帯の時代』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1721. 刊行:『黄昏の古都物語』短篇小説集, 有学書林
8月
1722. 『愛の道をゆくとき』あけぼの〈パウロの道に沿って―第8回〉
1723. 『国境という名の虚実―「こうのとりにたちずさんで」「プラハ」「ウディ・アレンの影と霧』婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
1724. 『作家の現場 49』新刊ニュース No.505
1725. 『仕立屋の恋』映画評, マリー・クレール
1726. 『歴史小説の中にあるもの』『辻邦生歴史小説集成』内容見本, 岩波書店
1727. 『わが草原の香り』群像【収録誌】『黄金の時の滴り』講談社, 1993年11月29日(平成5)
8月3日
1728. 『山の本に惹かれる―中公文庫―』週刊読書人〈文庫への招待―私の文庫活用法〉
8月5日
1649. 『モンテヴェルディの魅惑―季節の鏡 街の鏡③』埼玉新聞, 他4地方紙, 副題「音楽の源流へ遡る試み」
8月7日
1729. 『軽井沢の森の中で』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月10日
648. 刊行:『人形クリニック』短篇小説集, 中公文庫
8月14日
1730. 『終戦の日に誓うこと』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月21日
1731. 『戦後まだ根づかないもの』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月28日
1732. 『夏の終わりの憂鬱』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月
1733. 『ある思い出に』海燕
1734. 『アレオパゴスに立ちて』あけぼの〈パウロの道に沿って―第9回〉

1735. 『アンケート回答—ラヴ・ロマンス（世界・古典）ベスト10』季刊 リテルール〈特集・私の偏愛
書—魅力的な女性の登場人物を中心に古典の中から〉
1736. 『季節とともに在ること』狩, 狩俳句会発行, 通巻483号
1737. 『飽食時代の果て—「サム・サフィ」「インドシナ」「愛という名の疑惑』婦人之友【収録誌】『美
しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日（平成5）
9月3日
1738. 『井上靖 ロマンの世界』「井上靖展—文学の軌跡と美の世界—図録」（毎日新聞創刊120年・日本
近代文学館創立30周年記念）, 毎日新聞社
9月4日
1739. 『太陽と北風の話』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月9日
1740. 『抒情の本質—自伝風スケッチによる』SYMPHONY No.385, 東京交響楽団発行
9月11日
1741. 『この秋パリの街角で』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月18日
1741. 『この秋パリの街角で(2)』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月24日
1742. 『〈天草の雅歌〉歴史紀行—自作解題風に』解題『辻邦生歴史小説集成第二巻・天草の雅歌』
1743. 刊行：『辻邦生歴史小説集成第二巻・天草の雅歌』岩波書店
9月25日
1744. 『フランスの新しい顔』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月26日
1745. 『想像力と詩的対象と—中島敦の世界の二つの柱』「中島敦展図録」, 神奈川文学振興会発行【取
録誌】神奈川近代文学館 第38号, 神奈川文学振興会発行, 1992年10月15日（平成4）
- 10月
1746. 『愛と異教の広場で』あけぼの〈パウロの道に沿って—第10回〉
1747. 『季節とともに在ること』狩 通巻484号, 狩俳句会発行
1748. 『信州の森のなかで—「サクリフェイス』婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋,
1993年7月25日（平成5）
1749. 『歴史と文学との邂逅—〈辻邦生歴史小説集成〉刊行に寄せて』図書
10月2日
1750. 『この秋ニューヨークで』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月3日
1751. 『アンケート回答—蛇笏の一句』「飯田蛇笏展 没後三十年図録」山梨県立文学館発行
1752. 『雅と俗でおる—大タピスリ』朝日新聞〈第19回大仏次郎賞選評〉
10月5日
1649. 『ニューヨークのマチス—季節の鏡 街の鏡④』（原題「ニューヨークのマチス大懐古展」）長崎新
聞【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日（平成5）
1753. 『歴史と歴史小説の遠近—自作〈安土往還記〉を手がかりに』学燈
10月8日
1754. 『間章—ある目覚めた場所へ』解説, 間章『この旅に終りはない—ジャズ・エッセイ』帯に一部
掲載, 柏書房
10月9日

1755. 『アメリカの奥深さ』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月10日
791. 刊行：『国境の白い山』 短篇小説集，中公文庫
10月16日
1757. 『草深い教会の物語』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月23日
1758. 『戦争と平和は隣り合う』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月26日
1759. 『太虚への旅 太虚からの旅—自作解題風に』 解題『辻邦生歴史小説集成第三巻・嵯峨野明月記』
1760. 刊行：『辻邦生歴史小説集成第三巻・嵯峨野明月記』 岩波書店
10月27日
1761. 『私の大学時代』 古本 第18号 〈神田古書店連合目録—特集・近代作家による書物随筆〉，神田古書店連盟発行
10月30日
1762. 『言葉による理性の政治』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月
1763. 『新しい世界の予感—「めぐり逢う朝」』 婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』 文藝春秋，1993年7月25日（平成5）
1764. 『オランダベルギー絵画紀行』 マリー・クレール
1765. 『季節とともに在ること』 狩，狩俳句会発行 通巻485号
1766. 『現代が忘れた魂の眼ざし』 『エリオ・チロル写真集—アッジー』 内容案内リーフレット【収録誌】エリオ・チロル写真集『アッジ』 序文に，岩波書店，1993年2月5日
1767. 『皇帝の道 神の道』 あけぼの〈パウロの道に沿って—第11回〉
1768. 『書評—フロマンタン〈オランダベルギー絵画旅行 上・下〉高橋裕子訳』 マリー・クレール No.120
1351. 『旅のなかの肖像⑯芥川龍之介』 郵政〈人物〉シリーズ
1769. 『東京の美に胸おどるとき』 マリー・クレール【収録誌】『私の二都物語—東京・パリ』 中央公論社，1993年7月30日（平成5）
11月2日
1770. 『画家たちのシェイクスピア劇—ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス作〈オフィーリア〉』 東京新聞 夕刊
11月6日
1771. 『熊が里に下りる日』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月10日
1772. 『自由と制約と調和と』 Angel 創刊号 1992秋，エンゼル財団発行
11月11日
1773. 『海の底の人形のような…—幸田弘子の朗読の意味について』 幸田弘子の会パンフレット，東邦生命ホールにて開催
11月13日
1774. 『親しさとケジメと』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月20日
1775. 『回想の旅から—モスクワが〈聖なる都〉』 木村浩『世界の都市の物語①モスクワ』 月報，文藝春秋
1776. 『現代アメリカのゆくえ』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

11月25日

1777. 刊行：『辻邦生歴史小説集成第四巻・背教者ユリアヌスⅠ』岩波書店

1778. 『〈背教者ユリアヌス〉歴史紀行—自作解題風に(Ⅰ)』解題『辻邦生歴史小説集成第四巻・背教者ユリアヌスⅠ』

11月29日

1779. 『BS週刊ブックレビュー』BS-2でAM8:00~8:45の放送(如月小春のインタビュー)

1780. 『「国際都市」への期待』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

12月

1781. 『季節とともに在ること』狩, 狩俳句会発行 通巻486号

1782. 『育つ愛溺れる愛—「愛の風景」「天使」』婦人之友【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)

1783. 『ドローミエ版画集の思い出』推薦文, 『ドローミエ版画集成全3巻』内容見本, みすず書房

1784. 『葡萄酒色の海を越えて』あけぼのくパウロの道に沿って—第12回

1785. 『冬の心象から』俳句あるふぁ 創刊号〈季節の言葉〉, 毎日新聞社

12月1日

1786. 『わが読書 乱読を重ねた旧制松本高校, 寮生活時代』季刊 リテレール第3号, メタログ

12月4日

1649. 『国際様式の時代に—季節の鏡 街の鏡⑤』長崎新聞, 他7地方紙【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)

1787. 『南アの大地に立つ少年』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

12月6日

1788. 『私の日本語辞典』NHK第2放送, 読むことと書くこと①

12月10日

1789. 『イタリアの時 至福の時』「世界美術第全集」第11巻月報【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)

12月11日

1790. 『ある映画俳優の言葉』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

12月13日

1788. 『私の日本語辞典』NHK第2放送 読むことと書くこと②

12月18日

1791. 『世界の農民をリードする』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

12月20日

1788. 『私の日本語辞典』NHK第2放送 読むことと書くこと③

12月21日

1792. 『濃縮された生命の躍動—辻邦生氏に聞く』インタビュー, 週刊読書人【収録誌】『辻邦生歴史小説集成第十二巻歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)

12月22日

1793. 刊行：『辻邦生歴史小説集成第五巻・背教者ユリアヌスⅡ』岩波書店

1794. 『〈背教者ユリアヌス〉歴史紀行—自作解題風に(Ⅱ)』解題『辻邦生歴史小説集成第五巻・背教者ユリアヌスⅡ』

12月25日

1795. 『スクルージの目ざめ』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

12月25日

1788. 『私の日本語辞典』 NHK第2放送 読むことと書くこと④
1993年1月（平成5）
1796. 『赤坂慕情』 文學界
1797. 『オリガの春』 群像【収録誌】『黄金の時の滴り』 講談社，1993年11月29日（平成5）
1798. 『神と沈黙に出逢う音楽—映画〈めぐり逢う朝〉をめぐって』 音楽芸術
1799. 『〈信じる〉ことの周辺』 婦人之友
1351. 『旅のなかの肖像⑩トルストイ』 郵政〈人物〉シリーズ
1月8日
1800. 『国家解体のあとに』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1月10日
904. 刊行：『椎の木のほとり』 中公文庫
1月12日
1801. 『現代芸術の誕生を見る感動』 朝日新聞 ニューヨーク近代美術館「マチス回顧展」をめぐって
1月22日
1802. 『ある誠実な愛の物語』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1月29日
1803. 『「国際貢献」という呪文』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2月
1804. 『映画の中に見えるもの』 婦人之友
2月1日
1805. 『白鳥の夜明け』 文藝 春季号
2月5日
1806. 『スペイン内戦と現代』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2月12日
1807. 『バーチャルな現実』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2月19日
1808. 『武器が地上にある限り』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2月25日
1809. 刊行：『辻邦生歴史小説集成第七巻・春の戴冠 I』 岩波書店
1810. 『〈春の戴冠〉歴史紀行—自作解題風に(I)』 解題 『辻邦生歴史小説集成第七巻・春の戴冠 I』
2月26日
1811. 『超高齢化社会に向けて』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月
1812. 『映画推薦文—〈フィオーリーレ=花月の伝説=〉』 推薦文，〈フィオーリーレ=花月の伝説=〉ポスター
1813. 『情念の行方』 婦人之友
1351. 『旅のなかの肖像⑪浦上玉堂』 郵政〈人物〉シリーズ
3月5日
1814. 『散歩と「ゆとり」と』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月10日
1155. 刊行：『神々の愛でし海』 中公文庫
3月12日
1815. 『不況で戻ってきた常識』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

- 3月19日
1816. 『風化したテロリスト』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月25日
1817. 刊行：『辻邦生歴史小説集成第八巻・春の戴冠(II)』岩波書店
1818. 『〈春の戴冠〉歴史紀行―自作解題風に(II)』解題『辻邦生歴史小説集成第八巻・春の戴冠 II』
3月26日
1819. 『フランスの保革を貫くもの』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月
1820. 『希望を再生させるもの』 婦人之友
4月2日
1821. 『真の男女平等とは』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月4日
1822. 『生きる「時間」の愛しさ』 日本経済新聞
4月9日
1823. 『桜の国の春四月』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月16日
1824. 『スポーツシーズン開幕』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月23日
1825. 『上信越道を走る』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月26日
1826. 刊行：『辻邦生歴史小説集成第九巻・春の戴冠 III』岩波書店
1827. 『〈春の戴冠〉歴史紀行―自作解題風に(III)』解題、『辻邦生歴史小説集成第九巻・春の戴冠 III』
4月30日
1828. 『フランス料理の変わり方』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月
1829. 『時代とヒーローの条件』 婦人之友
1351. 『旅のなかの肖像⑩コンラッド』 郵政〈人物〉シリーズ
1830. 『わが夏 至福の時』 俳句あるふぁ
5月7日
1831. 『軽井沢の森の日々』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月10日
1832. 『ロマン主義の再生』『世界美術大全集 第3巻『ロマン主義』月報』小学館
5月12日
1833. 『打ち上げ挨拶』談話、朝日新聞 夕刊〈ことば抄〉シリーズ、講談「桜―牧野富太郎」の公演の
監修者として打ち上げでの挨拶
5月14日
1834. 『ニキータの語るもの』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月21日
1835. 『映画推薦文―〈カサノヴァ最後の恋〉』推薦文、朝日新聞広告
1836. 『言語からみた統合の道』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月24日
1837. 『歴史の中 歴史の外』講演、於・国際基督教大学 国際基督教大学主催【収録誌】『言葉が輝くと
き』文藝春秋、1994年8月10日(平成6)

5月25日

1838. 刊行：『辻邦生歴史小説集成第十巻・春の戴冠 IV』岩波書店

1839. 『春の戴冠』歴史紀行—自作解題風に(IV)』解題、『辻邦生歴史小説集成第十巻・春の戴冠 IV』

1840. 『Jリーグ人気の秘密』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

6月

1841. 『異次元の散歩から』婦人之友

1842. 『読者論の地平—思惟と映像のあいだで』海燕〈読者をよむ—私にとっての読者 読者にとっての私〉

6月4日

1843. 『あるアメリカ女性の幸福』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

6月11日

1844. 『「夫たち 妻たち」の場合』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

6月18日

1845. 『企業メセナ問題の今後』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

6月25日

1846. 『安土往還記』歴史紀行—自作解題風に』解題、『辻邦生歴史小説集成第一巻』

1847. 『十二の肖像画による十二の物語』〈十二の風景画への十二の旅〉歴史紀行—自作解題風に』
解題『辻邦生歴史小説集成第一巻 安土往還記』〈十二の肖像画による十二の物語〉〈十二の風景画への十二の旅〉

1848. 刊行：『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店

1849. 『文化破壊と政治危機』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

6月25日

1850. 『朝のモーツァルト 夜のモーツァルト』講演(カザルス・ホールにて)、小学館『モーツァルト全集』完結記念講演と演奏会

7月

1851. 『結婚する愛しない愛』婦人之友

1351. 『旅のなかの肖像⑨谷崎潤一郎』郵政〈人物〉シリーズ

1852. 『野分のあと』群像【収録誌】『黄金の時の滴り』講談社、1993年11月29日(平成5)

7月1日

1853. 『悲しみをこめて振り返れ—失われた巨匠たち』マリー・クレール

7月2日

1854. 『新しい時代の風』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

7月16日

1855. 『あるアメリカ映画の勇氣』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

7月19日

1856. 『変わりゆくサミットの顔』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

7月23日

1857. 『箱庭療法と政治参加』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

7月25日

1858. 刊行：『美しい人生の階段』映画ノート'88~'92, 文藝春秋

1859. 『「人生の階段」を見る楽しみ』『美しい人生の階段』映画ノート'88~'92

7月30日

1860. 『あとがき—私の二都物語—東京・パリ』『私の二都物語—東京・パリ』中央公論社
1861. 『失われたものの教訓』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1862. 刊行：『私の二都物語—東京・パリ』中央公論社
8月
1864. 『永遠の影が映るとき』婦人之友
1865. 『ダニエル・シュミット監督〈季節のはざままで〉』マリー・クレール
8月6日
1866. 『ある挫折の記憶』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月13日
1867. 『国民の方を向く政治』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月20日
1868. 『侵略戦争という見方』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月27日
1869. 『はじめに信州ありき』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月
1870. 『アメリカの自画像』婦人之友
1351. 『旅のなかの肖像⑩ヘルマン・ヘッセ』郵政〈人物〉シリーズ
1871. 『映画とは〈詩〉と〈面白さ〉についての物語』リテレーブル別冊3
9月3日
1872. 『演説風景きのう今日』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月10日
1873. 『ドゥマゴ文学賞の周辺』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月17日
1874. 『音楽都市・信州松本』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月20日
1875. 『ある冒険家の肖像』筑摩書房『堀田善衛全集 5』月報
9月24日
1876. 『国民と政治と権力と』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月1日
1877. 『近況』新刊ニュース
1878. 『歴史の変革期の表情』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月8日
1879. 『ロシアの今後をどう見る』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月10日
1880. 『時を超えた視線—第3回 Bunkamura ドゥマゴ文学賞選考にあたって』ドゥマゴ通信
10月15日
1881. 『北信の日々から』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月21日
1882. 刊行：『辻邦生歴史小説集成第十二巻歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店
1883. 『歴史小説創作ノート—「背教者ユリアヌス」』『辻邦生歴史小説集成第十二巻歴史小説論・歴史小説創作ノート』
10月22日
1884. 『「マリオと魔術師」』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

10月25日

1885. 『あとがき—〈美神との饗宴の森で〉』『美神との饗宴の森で』新潮社

1886. 刊行：『美神との饗宴の森で』新潮社

10月29日

1887. 『景観づくりの長い道』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

11月

1888. 『森の中の生活から』婦人之友

11月5日

1889. 『スポーツの秋に思う』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

11月12日

1890. 『プロ野球と時代の変化』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

11月19日

1891. 『真の国際人になるには』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

11月24日

1892. 『芸術からのテストメント—トーマス・マン〈ファウスト博士〉をめぐる20世紀芸術の運命』講演，朝日オリオン・レクチャー・コンサート，朝日新聞社主催【収録誌】音楽芸術〈「ファウスト博士」における20世紀芸術の運命1〉，1994（平成6）年6月/音楽芸術〈「ファウスト博士」における20世紀芸術の運命2〉，1994年7月（平成6）/音楽芸術〈「ファウスト博士」における20世紀芸術の運命3〉，1994年8月（平成6）

11月26日

1893. 『「ピアノ・レッスン」』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

11月29日

1894. 『あとがき—〈黄金の時の滴り〉』『黄金の時の滴り』講談社

1895. 刊行：『黄金の時の滴り』講談社

12月

1896. 刊行：『小説の魅力』（CDで聞く特別講義）スペース・イマ発行

1897. 『適度さの基準を求めて』婦人之友

12月4日

1898. 『政治改革はなぜ延びる』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

12月10日

1899. 『子供の目が輝くとき』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1900. 『ナポレオン神話と実像』別冊歴史読本〈総集編大ナポレオン百科〉

12月17日

1901. 『歴史の転換期の自覚』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

12月24日

1902. 『美しくなろうとする心』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1994年1月4日（平成6）

1903. 『世界文化の時代に必要 異物消化する強い胃袋』読売新聞 夕刊〈異文化・異聞—国際化社会の中で1〉【収録誌】熊平雅人編『抜粋のつづり その五十四』（改題「異物感と憧れの間で…」）熊平製作所

1月7日

1904. 『あえて「和」を尊ぶのは』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1月9日

1905. 『樟の新緑が輝くとき』 日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994. 10. 15 (平成6) 10月15日
1月14日
1906. 『毛沢東に思うこと』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1月16日
1907. 『季節のなかに生きること』 日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日 (平成6)
1月21日
1908. 『子供の読書のために』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1月23日
1909. 『開けた窓 閉めた窓』(原題「あけた窓 しめた窓」) 日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日 (平成6)
1月28日
1910. 『三S時代のなかで』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1月30日
1911. 『白い雲の流れる日々』 日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日 (平成6)
2月
1912. 『わがリユーマチ記』 文學界
1913. 『憑依の果て<一黄金の時刻の滴り>の舞台裏』 本
2月4日
1914. 『シンドラーのリスト』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2月6日
1915. 『巷に雨の降るごとく』 日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日 (平成6)
2月10日
1916. 『ふたりのヴィーナス』 小学館『世界美術大全集 第13巻 イタリア・ルネッサンス 3』 月報〈世界美術の回廊から・7〉
2月13日
1917. 『記憶のなかにつもる雪』 日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日 (平成6)
2月18日
1918. 『地球星の子供たち』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2月20日
1919. 『雲にうそぶく槍穂高』 日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日 (平成6)
2月25日
1920. 『美術展は花ざかり』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2月27日
1921. 『海のなかに母がいる』 日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日 (平成6)
3月1日
1922. 『映像(イメージ)に達すること』 群像

1923. 『小説（フィクション）の合せ鏡に浮ぶ実像（リアリテ）—久世光彦〈一九四三年冬—乱歩〉』書評, 季刊 リテレール 第8号 メタローグ社
1924. 『薔薇の沈黙—リルケ論の試み 1—変容〈メタモルフォーズ〉すること』論文, ちくま No.276
3月4日
1925. 『冬季五輪を迎える心』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月6日
1926. 『旗が風になびくとき』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日（平成6）
3月10日
1927. 『静止する時間に沈む形像』『世界美術大全集第2巻エジプト美術』月報, 小学館
1928. 『ニ短調ピアノ協奏曲の肖像』リテレール別冊6
3月11日
1929. 『青いレクイエム』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月13日
1930. 『パリで講義をした頃』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日（平成6）
3月14日
1931. 『愛欲劇に「世界構造」映す—「映画〈ピアノ・レッスン〉の重い象徴性』朝日新聞
3月18日
1932. 『知的形成は変わるのか』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月20日
1933. 『文化人類学の時代に』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日（平成6）
3月25日
1934. 『不況下のパリから』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1935. 『私の好きな文庫本ベスト5』リテレール, メタローグ 別冊7
3月27日
1936. 『翻訳できない生活風土』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日（平成6）
4月1日
1937. 『花の都のいまは…』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
1924. 『薔薇の沈黙—リルケ論の試み 2—〈固有の死を失うこと〉』論文, ちくま No.277
4月3日
1938. 『逝く者かくの如きか』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日（平成6）
4月8日
1939. 『政治ゆるがす若者たち』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月10日
1940. 『くたびれて宿かる頃や』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日（平成6）
4月15日
1941. 『新しいルーヴルから』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月17日

1942. 『オリーブ畑の上の月』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日(平成6)
4月22日
1943. 『フランス田園の旅』信濃毎日新聞 夕刊<今日の視角>
4月24日
1944. 『広場という名の幸福』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日(平成6)
5月1日
1945. 『願わくは花の下にて』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日(平成6)
1924. 『薔薇の沈黙—リルケ論の試み3—物語が崩壊するとき』論文, ちくま No.278
5月6日
1946. 『信濃の花の下で』信濃毎日新聞 夕刊<今日の視角>
5月8日
1947. 『花物語の漂う場所』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日(平成6)
5月10日
1948. 『バロックを出てバロックへ』『世界美術大全集 第16巻バロック1』月報, 小学館
5月13日
1949. 『メソポタミアの心配』信濃毎日新聞 夕刊<今日の視角>
5月15日
1950. 『君よ知るや南の国』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日(平成6)
5月20日
1951. 『「希望」という言葉』信濃毎日新聞 夕刊<今日の視角>
5月22日
1952. 『雪ですべったラム』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日(平成6)
5月27日
1953. 『フロイスの言葉』信濃毎日新聞 夕刊<今日の視角>
5月29日
1954. 『ある文学の原風景』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日(平成6)
6月1日
1955. 『小説へと目覚める過程を再認識した作品』リテレール, メタローグ 9号<最も思い出深い自作>
1924. 『薔薇の沈黙—リルケ論の試み4—セザンヌからの光』論文, ちくま No.279
6月3日
1956. 『美が生活感覚になる時』信濃毎日新聞 夕刊<今日の視角>
6月5日
1957. 『あといくたびの夏が』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日(平成6)
6月10日
1958. 『デマゴーグの手口』信濃毎日新聞 夕刊<今日の視角>

6月12日

1959. 『地図を眺めて三千里』 日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日(平成6)

6月17日

1960. 『RAMPO プーム』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

6月19日

1961. 『文学という名の幸福』 日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日(平成6)

6月24日

1962. 『ある老いらくの恋』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

6月26日

1963. 『聖フランシスの丘で』 日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日(平成6)

7月1日

1924. 『薔薇の沈黙—リルケ論の試み5—〈愛する女〉の肖像』論文, ちくま No.280

1964. 『変化の時代の処方箋』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

7月2日

1965. 『献身という愛の姿』推薦文, 映画「永遠の愛に生きて」パンフレット, 日本ヘラルド映画

7月3日

1966. 『花咲くデロスの島』 日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日(平成6)

7月8日

1967. 『猛暑の夜の夢』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

7月10日

1968. 『ある恋の行方—自作〈西行花伝〉のパースペクティブ』 国文学

1969. 『イタリア古寺巡礼』 日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日(平成6)

7月15日

1970. 『信州鼎談 戦後50年を問う (1)「冷戦後新しい視座は〈日本の明日〉を探る」』 信濃毎日新聞【収録誌】『鼎談 戦後50年を問う—辻邦生, 堤清二, 安江良介—』 信濃毎日新聞社, 1994年8月31日(平成6)

1971. 『ドイツ軍がパリに行く』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

7月16日

1970. 『信州鼎談 戦後50年を問う (2)「日本的なもの」』 信濃毎日新聞【収録誌】『鼎談 戦後50年を問う—辻邦生, 堤清二, 安江良介—』 信濃毎日新聞社, 1994年8月31日(平成6)

7月17日

1970. 『信州鼎談 戦後50年を問う (3)「日本人の感性」』 信濃毎日新聞【収録誌】『鼎談 戦後50年を問う—辻邦生, 堤清二, 安江良介—』 信濃毎日新聞社, 1994年8月31日(平成6)

1972. 『虹の橋をわたる心』 日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタローグ, 1994年10月15日(平成6)

7月18日

1970. 『信州鼎談 戦後50年を問う (4)「豊かさの質」』 信濃毎日新聞【収録誌】『鼎談 戦後50年を問う—辻邦生, 堤清二, 安江良介—』 信濃毎日新聞社, 1994年8月31日(平成6)

7月19日

1970. 『信州鼎談 戦後50年を問う (5)「個人と社会」』信濃毎日新聞【収録誌】『鼎談 戦後50年を問う 一辻邦生, 堤清二, 安江良介』信濃毎日新聞社, 1994年8月31日(平成6)

7月22日

1973. 『森の花々とともに』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

7月24日

1974. 『聖なるロシアを求めて』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタログ, 1994年10月15日(平成6)

7月29日

1975. 『水不足の夏に思う』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

7月31日

1977. 『三つの啓示によせて』日本経済新聞 日曜版「こころ」【収録誌】『生きて愛するために』メタログ, 1994年10月15日(平成6)

8月

1978. 『小説と観念の結婚』小説中公

1979. 『夢中になって本をよむ幸福』推薦文, 東京子ども図書館20周年記念募金趣意書, 東京子ども図書館

8月1日

1924. 『薔薇の沈黙—リルケ論の試み6—〈愛する女〉の肖像(続)』ちくまNo.281

8月5日

1980. 『ヴェネツィアわが愛』サントリークオータリー

1981. 『軽井沢が三十二度になる日』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

8月10日

1983. 『〈エコール・ド・パリ〉のパリ』小学館『世界美術大全集 第25巻フォーヴィスムとエコール・ド・パリ』月報

1982. 『あとがき—言葉が輝くとき』『言葉が輝くとき』文藝春秋

1984. 刊行: 『言葉が輝くとき』文藝春秋

8月12日

1985. 『読む楽しさを子供に』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

8月19日

1986. 『子ども図書館の現在』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

8月26日

1987. 『恩師古川久先生を悼む』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

9月

1988. 『香しい時間の至福「青いパイアの香り」の裏と表』映画評論, マリー・クレール

1989. 『美へ轉身した都市』推薦文, 『ヴェネツィア大運河』宣伝, 洋泉社

9月1日

1990. 『雲の行き来』日記, 季刊 リテレル —最近の日記から—

1924. 『薔薇の沈黙—リルケ論の試み7—天使のプロフィール』論文, ちくま No.282

1991. 『虫たちと歌の生命と—北杜夫〈母の面影〉』書評, 季刊 リテレル —最近の日記から—

9月2日

1992. 『ある都市緑化の物語』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

9月9日

1993. 『孤独な散歩のすすめ』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月16日
1994. 『初めは機関銃一丁だが』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月30日
1995. 『企業メセナのゆくえ』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月
1996. 『ルナルこの等身大の偉大さ』 推薦文, 『ジュール・ルナル全集 全16巻』 内容見本, 臨川書店
10月1日
1997. 『新しいルーヴルから』 別冊文藝春秋
1998. 『無題: 書評一馬場広信監修「アンドレイ・タルコフスキ〈鏡〉の本」 落合東朗「タルコフスキ
ーとルブリョフ」 マリー・クレール』
10月7日
1924. 『薔薇の沈黙—リルケ論の試み 8—天使の現れる場所』 論文, ちくま No.283
1999. 『上高地の秋 ジュラの秋』 ビスターリ 別冊山と溪谷 No.22
2000. 『少年をめぐる映画二題』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月10日
2001. 『ゴシックの夢のほとりで』 小学館『世界美術大全集 第10巻 ゴシック 2』月報
10月14日
2002. 『何故危機は隠される』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月15日
2003. 『あとがき—〈生きて愛するために〉』 『生きて愛するために』 メタローク
2004. 『生きて愛するために』 メタローク
2005. 『非日常への変貌の場』 彩の国さいたま劇場, 埼玉県芸術文化振興財団
10月21日
2006. 『子供の病院がなくなる』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月28日
2007. 『オペラの至福に酔って』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月1日
1924. 『薔薇の沈黙—リルケ論の試み 9—委託を果す者』 論文, ちくまNo. 284
2008. 『無題: 書評—中条省三「映画作家論」』 マリー・クレール
11月4日
2009. 『伝統音楽と前衛の狭間』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月6日
2010. 『弾く人と書く人のあいだ—没後30年目の辻靖剛を追想して』 モノオペラ『銀杏散りやまず』パ
ンフレット, 薩摩琵琶古典研究会
11月11日
2011. 『歴史の転換期は今』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月15日
2012. 『無題: 推奨文—「屏風二人展」』 推奨文, 『屏風二人展 小宮求茜・小田切恵子』 パンフレット
11月18日
2013. 『アジア人としての眼』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月20日
2014. 『想像の地平との出会い』 『大岡昇平全集 3』 解説, 筑摩書房

11月25日

2015. 『関屋光彦先生を悼む』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

12月

2016. 『ニーチェを照らす光』 推薦文, 『ニーチェ事典』 宣伝, 弘文堂

2017. 『ペイターへのささやかな私見』 英語青年〈特集：ウォルター・ペイター〉

12月1日

2018. 『無題：映画評—ダニエル・ペルイマン監督「日曜日のピュフ」』 マリー・クレール1924. 『薔薇の沈黙—リルケ論の試み10—遠ざかる死者たち』 論文, ちくま No.285

12月2日

2019. 『樹木と友達になる時』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

12月9日

2020. 『「あいまいな日本」の意味』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

12月10日

2021. 『彫刻の入口に立つミケランジェロ』 小学館『世界美術大全集 第12巻イタリア・ルネッサンス 2』月報

12月16日

2022. 『冬のパリの街角から』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1995年1月1日（平成7）

2023. 『山茶花』 挿花【収録誌】『花のレクイエム』新潮社, 1996年11月15日（平成8）

2024. 『死者のいる夜の歌』 ノーサイド2025. 『〈ドルジェル伯の舞踏会〉のマオ』 婦人之友〈心ひかれる女性のアルバム〉2026. 『モノオペラ〈銀杏散りやまず〉始末記』 群像〈楽しみの世紀末〉2027. 『モノオペラ〈銀杏散りやまず〉の裏表』 文學界1924. 『薔薇の沈黙—リルケ論の試み11—見ることの果てに来る変容』 論文, ちくま No.286

1月6日

2028. 『幸福と快楽の間』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1月13日

2029. 『アトピー患者の悲鳴』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1月20日

2030. 『救助犬に動物検疫?』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1月27日

2031. 『緊急時の真理とは』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

2月1日

2032. 『アネモネ』 挿花【収録誌】『花のレクイエム』新潮社, 1996年11月15日（平成8）

2033. 『過ぎゆく時の陶醉—〈アブラハム溪谷〉のエマの意味』 群像〈楽しみの世紀末〉2034. 『〈ディヴィッド・コパフィールド〉のドオラとアグネス』 婦人之友〈心ひかれる女性のアルバム〉

2035. 『アネモネの丘』 趣味の園芸

1924. 『薔薇の沈黙—リルケ論の試み11—〈開かれた空間〉の声』 論文, ちくま No.287

2月3日

2036. 『映画「写楽」の陶醉感』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

2月5日

2037. 『〈西行花伝〉を新しい書法で』 朝日新聞〈ただ今執筆中〉

- 2月10日
 2038. 『現実に目を開くとき』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
 2039. 『ゴシックに還る心』 小学館『世界美術大全集 第9巻ゴシック 1』月報
 2月17日
 2040. 『京都時雨亭のほとりで』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
 2月24日
 2041. 『教育理念の転換期に』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
 2月25日
 2042. 『プッサンの眩暈』 国語教室 54号
 3月
 2043. 『句のむこうにあるもの』『飯田蛇笏集成 第六巻』月報6, 角川書店
 2044. 『すみれ』挿花【収録誌】『花のレクイエム』新潮社, 1996年11月15日(平成8)
 2045. 『パリのプッサン展から』 新潮
 2046. 『〈武器よさらば〉のキャサリン』 婦人之友〈心ひかれる女性のアルバム〉
 2047. 『プッサン展の〈自画像〉など』 群像〈楽しみの世紀末〉
 3月1日
 2048. 『無題：書評—水村章「幸福への意志」』 マリー・クレール
 3月3日
 2049. 『幸福なき安楽社会』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
 3月4日
 2050. 刊行：『人間が幸福であること—人生についての281の断章—』海竜社
 2051. 『はじめに—〈人間が幸福であること〉』序文, 『人間が幸福であること』海竜社
 3月10日
 2052. 『地震国にくらす覚悟』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
 3月14日
 2053. 『層成す江戸の美・粋を透視—映画「写楽」の華麗な謎解き』 朝日新聞
 3月17日
 2054. 『悲観的気分に対処して』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
 3月24日
 2055. 『グロテスクな見本市』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
 3月31日
 2056. 『名優トム・ハンクス』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
 4月
 2057. 『〈失われた足跡〉のロサリオ』 婦人之友〈心ひかれる女性のアルバム〉
 2058. 『西行—泥沼に咲く花』談話, 波
 2059. 『ライラック』挿花【収録誌】『花のレクイエム』新潮社, 1996年11月15日(平成8)
 4月6日
 2060. 『小石を投げるユゴー』 週刊新潮
 4月7日
 2061. 『最新フランス事情から』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
 4月10日
 2062. 『永遠を見る視線』 小学館『世界美術大全集 第26巻 表現主義と社会派』月報
 4月14日

2063. 『悪夢に似た現実の中で』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月20日
2064. 『地球交響曲 第2番』 週刊文春
4月21日
2065. 『若さを生きる老年に』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月28日
2066. 『西行と過ごした日々』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月30日
1433. 刊行：『西行花伝』新潮社
5月
2067. 『クレマチス』挿花【収録誌】『花のレクイエム』新潮社，1996年11月15日（平成8）
2068. 『〈静かなるドン〉のアクシーニャ』婦人之友〈心ひかれる女性のアルバム〉
2069. 『聖画像の新たな旅—〈イコン—聖画像新釈〉の刊行に寄せて』推薦文，『イコン—聖画像新釈』
内容見本，リプロポート
5月12日
2070. 『病んだ社会が見える』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月19日
2071. 『大いなる試練の時』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月26日
2072. 『レニという名の女性』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月31日
2073. 『愛と情念の寺院—解説』『安南—愛の王国』クリストフ・バタイユ著，集英社
2074. 刊行：クリストフ・バタイユ著『安南—愛の王国』翻訳，集英社 “Christophe Bataille : ANNANM, Septembre 1993, Arlea, Paris”
- 6月
2075. 『紫陽花』挿花【収録誌】『花のレクイエム』新潮社，1996年11月15日（平成8）
2076. 『ビザンチン世界への贅沢な冒険』推薦文，『ヒラリダル修道院』，恒文社
2077. 『〈魔の山〉のショーシャ夫人』婦人之友〈心ひかれる女性のアルバム〉
2078. 『乱世の美と政治 時的反転としての〈西行花伝〉』対談（清水徹），新潮
2079. 『歴史の認識と文学力をめぐって』対談（菅野昭正），すばる
6月2日
2080. 『青島知事の決断の意味』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
6月9日
2081. 『パリの大道芸人たち』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
6月16日
2082. 『フランスと核実験』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
6月23日
2083. 『奇蹟の処女ジャンヌ』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
6月25日
2084. 『小説空間に生きる陶酔』 リテレール，メタローク 12号〈読書日記〉
6月30日
2085. 『戦後五十年の夏を前に』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月

2086. 『〈回廊にて〉のアンドレ』婦人之友〈心ひかれる女性のアルバム〉
2087. 『百合』挿花【収録誌】『花のレクイエム』新潮社, 1996年11月15日(平成8)7月7日
2088. 『青空を待ち望む心』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月14日
2089. 『伝記・自伝のすすめ』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月21日
2090. 『イタリアあれこれ』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月22日
2091. 『フランスの青春の香り』映画「野性の葦」パンフレット, ジャンテ・シネクラブ
7月23日
2092. 『もう一つの真実の発見』講演(第117回ふれあい教養セミナー), ふれあいBox, 東海大学社会教育センター
7月28日
2093. 『仏国に良識がある限り』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月
2094. 『向日葵』挿花【収録誌】『花のレクイエム』新潮社, 1996年11月15日(平成8)
2095. 『〈枕の草子〉の清少納言』婦人之友〈心ひかれる女性のアルバム〉
2096. 『わが愛する調べ』文學界
8月1日
2097. 『書齋訪問』歴史読本
2098. 『日常と結びついた音楽』(高橋アキと対談) ショパン
8月4日
2099. 『教育の新時代のために』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2100. 『作家生活50年』講演, 第28回八千穂夏季大学
8月10日
2101. 『北と南の会おう時』小学館『世界美術大全集 第14巻北方ルネッサンス』月報
8月11日
2102. 『ある長篇詩の悲しみ』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月18日
2103. 『変化する歴史に沿って』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月25日
2104. 『晩夏の軽井沢から』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月
2105. 『ルネサンス理解の新しい次元』推薦文, 『ルネサンス百科事典』広告, 原書房
9月1日
2106. 『現実には現実を』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2107. 『言葉と存在の場に生きて』中央公論
2108. 『更級日記一物語に憧れる女』婦人之友〈心ひかれる女性のアルバム〉
2109. 『まつむし草』挿花【収録誌】『花のレクイエム』新潮社, 1996年11月15日(平成8)
9月8日
2110. 『核実験と不戦思想』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月10日

1718. 刊行：『江戸切絵図貼交屏風』文春文庫
9月15日
2111. 『小説家にとっての幼少期』リテレール，メタログ 13号〈読書日記〉
9月22日
2112. 『法王無謬説と大学』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月29日
2113. 『メセナの新しい段階』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月
2114. 『〈恋のゆくえ〉和泉式部』婦人之友〈心ひかれる女性のアルバム〉
2115. 『ジャンルビブ監督「モンタン，パリに抱かれた男」』映画評論，マリー・クレール
2116. 『萩』挿花【収録誌】『花のレクイエム』新潮社，1996年11月15日（平成8）
10月2日
2117. 『光の大地』長編小説，毎日新聞 連載小説（→1996.3.13）【収録誌】『光の大地』毎日新聞社，
1996年7月25日（平成8）
10月6日
2118. 『何のため 核抑止力』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月10日
2119. 『ギリシアで見た美の必然』小学館『世界美術大全集 第4巻ギリシア・クラシックとヘレニスム』
月報
10月13日
2120. 『子供の体力のために』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月14日
2121. 『若いころ見て心に沁みだ映画』キネマ旬報臨時増刊号
10月20日
2122. 『シャガールの中のリアリストの眼』美術の窓
2123. 『母乳育児が示すもの』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月27日
2124. 『〈西行花伝〉の周辺』講演，於・紀南文化会館ホール，田辺市文化協会主催
2125. 『スポーツの秋に』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月
2126. 『男と女の神秘的赦し』映画パンフレット，シネカノン
2127. 『現代に響き合う歌論の意味—竹西寛子〈日本の文学論〉—』書評，新潮
2128. 『猿捕茨』挿花【収録誌】『花のレクイエム』新潮社，1996年11月15日（平成8）
2129. 『〈夏の砦〉の支倉冬子』婦人之友〈心ひかれる女性のアルバム〉
2130. 『微光の道—〈西行花伝〉への自作改題』中央公論—文学的近況
11月3日
2131. 『救急患者になったとき』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
2132. 『自分の声を発見し歌う』週刊読書人〈トーク・クローズ・アップ〉
11月17日
2133. 『腰痛と正しい姿勢』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月24日
2134. 『生と死が見える場所』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
12月1日

2135. 『〈樹の声海の声〉の逗子咲耶』 婦人之友 〈心ひかれる女性のアルバム〉
2136. 『クリスマスローズ』 挿花【収録誌】『花のレクイエム』 新潮社, 1996年11月15日 (平成8)
2137. 『ヘーゲル流行の実体』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
12月8日
2138. 『映画「ユリシーズの瞳」』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
12月10日
2139. 『ラスコー洞窟で見たもの』 小学館『世界美術大全集 第1巻先史美術と中南米美術』 月報
12月15日
2140. 『フランス大ストの顔』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
12月16日
2141. 『悦楽と苦悩と想像と』 CINEMA RISE No.57, コムストック
12月22日
2142. 『西田哲学に触れて』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
1996年1月5日 (平成8)
2143. 『パリのセザンヌ展』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
1月12日
2144. 『ある死と左翼の終り』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
1月19日
2145. 『〈あそび〉のむずかしさ』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
1月20日
2146. 『宇野千代』 『平成の女たち』 世界文化社
1月26日
2147. 『ある新装版の周囲』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
1月31日
2148. 『ライト・モチーフの意識』 ワーグナーヤールブーフ 1995, 東京書籍
2月2日
2149. 『フランス核実験の終り』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
2月9日
2150. 『ゲーテの道とわれわれ』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
2月16日
2151. 『羽生名人の時代がくる』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
2月23日
2152. 『武満徹さんのこと』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
2月25日
2153. 『文庫版〈夜ひらく〉あとがき』 集英社文庫
1174. 刊行: 『夜ひらく』 連作短篇小説集, 集英社文庫
2月29日
2154. 『永遠の春』 『春の戴冠』 付録, 新潮社
204. 刊行: 『春の戴冠』 新潮社
3月1日
2155. 『歴史の幻想とイロニー』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
3月8日
2156. 『デュラスの愛と孤独』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉

- 3月15日
2157. 『ネルーダと郵便配達人』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月22日
2158. 『都会を歩けた頃』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
3月28日
2159. 刊行：『愛、生きる喜び—愛と人生についての197の断章—』アンソロジー海竜社
2160. 『あとがき—〈愛、生きる喜び〉』『愛、生きる喜び』海竜社
3月29日
2161. 『人間の絆を見いだす場所』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月
2162. 『日本絵画論への新しい道』『日本絵画論大成 全12巻』宣伝パンフレット、ペリかん社
4月5日
2163. 『斎藤茂吉と北杜夫』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月7日
2164. 『なぜ恋愛小説が困難に？ 一拝啓 水村美苗様—』朝日新聞〈手紙、葉を添えて〉
4月12日
2165. 『映画〈シクロ〉とベトナム』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月19日
2166. 『アジア・太平洋の黒いきり』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月20日
2167. 『宇野千代宛書簡』（実写掲載）『宇野千代の世界』山梨県立文学館
4月21日
2168. 『幼少の頃の即読書の祝祭 一拝啓 水村美苗様—』朝日新聞〈手紙、葉を添えて〉
4月26日
2169. 『〈存在の深き眠り〉』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月
2170. 『日本恋慕の中の女性』『竹西寛子著作集 全五巻』宣伝パンフレット、新潮社
5月5日
2171. 『読書の“小魔窟”のなかで 一拝啓 水村美苗様—』朝日新聞〈手紙、葉を添えて〉
5月10日
2172. 『ある歴史誤認とその理由』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月17日
2173. 『イル・ポスティー』映画推薦文、朝日新聞映画広告欄
2174. 『寒い五月のフランス』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月19日
2175. 『物語が持つ魔術的一体性 一拝啓 水村美苗様—』朝日新聞〈手紙、葉を添えて〉
5月24日
2176. 『壇谷雄高全集の意味』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
5月31日
2177. 『フランス兵が消える日』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
6月1日
2178. 『無題：映画評—エミールソストリッツァ監督「アンダーグラウンド」』マリー・クレール
6月2日

2179. 『男女の顔が欠落した風土 一拝啓 水村美苗様一』 朝日新聞 〈手紙, 葉を添えて〉
6月7日
2180. 『高齢社会を迎える心』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
6月14日
2181. 『東京・信州花物語』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
6月15日
2182. 『高橋和巳没後 25年』 『書誌的・高橋和巳』 帯, 和泉書院
6月16日
2183. 『欠けていた「幸福の観念」 一拝啓 水村美苗様一』 朝日新聞 〈手紙, 葉を添えて〉
6月21日
2184. 『世界の天気予報の意味』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
6月28日
2185. 『マルチメディア時代の憂鬱』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
6月30日
2186. 『「見えない世界」の存在感 一拝啓 水村美苗様一』 朝日新聞 〈手紙, 葉を添えて〉
7月5日
2187. 『世界は一つの共通現実』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
7月12日
2188. 『アレルギーはどこからくる』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
7月14日
2189. 『書くことの根源的な意味 一拝啓 水村美苗様一』 朝日新聞 〈手紙, 葉を添えて〉
7月19日
2190. 『ヘッセが流行する現象』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
7月25日
2117. 刊行: 『光の大地』 長編小説, 毎日新聞
7月26日
2191. 『平常心とスポーツ』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
7月28日
2192. 『一葉が喚起する裏町の姿 一拝啓 水村美苗様一』 朝日新聞 〈手紙, 葉を添えて〉
8月1日
2193. 『無題: 書評—高橋裕子「世紀末の赤毛連盟」』 マリー・クレール
8月2日
2194. 『金銭感覚と精神の品位』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
8月9日
2195. 『信州の匂い 森の匂い』 信濃毎日新聞 夕刊 〈今日の視角〉
8月18日
2196. 『ディケンズ, 情景の描出法 一拝啓 水村美苗様一』 朝日新聞 〈手紙, 葉を添えて〉
9月
2197. 『無題—〈集英社世界文学大事典〉』 集英社 『世界文学大事典』 内容見本
10月30日
2198. 刊行: 『アブサン』 翻訳 (堀内ゆかりとの共訳), 集英社
11月15日
2199. 『カロッサを読んだ頃』 信濃毎日新聞 〈今日の視角〉

2200. 刊行：『花のレクイエム』新潮社
11月22日
2201. 『子供たちの笑顔が見たい』信濃毎日新聞〈今日の視角〉
11月29日
2202. 『建物が白かった頃』信濃毎日新聞〈今日の視角〉
12月6日
2203. 『音楽の森で生を聞く』信濃毎日新聞〈今日の視角〉
12月8日
2204. 『手紙だけの友情と想像力―拝啓 水村美苗様―』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉
12月13日
2205. 『金銭支配という暴力』信濃毎日新聞〈今日の視角〉
12月20日
2206. 『イタリア わが愛』サントリークォタリー 53〈イタリアの食〉
2207. 『必要と不必要』信濃毎日新聞〈今日の視角〉
12月22日
2208. 『物語のある小説・ない小説―拝啓 水村美苗様―』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉
12月27日
2209. 『時間と付き合う法』信濃毎日新聞〈今日の視角〉
1997年1月1日(平成9)
2210. 『〈花のレクイエム〉の行方』波
2211. 『静かな新年に思う』信濃毎日新聞〈今日の視角〉
1月17日
2212. 『人質の底辺にあるもの』信濃毎日新聞〈今日の視角〉
1月19日
2213. 『日本語のマユを破って―拝啓 水村美苗様―』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉
1月21日
2214. 『黒衣に徹して』第4回井上靖文化賞パンフレット, 井上靖記念文化財団
1月24日
2215. 『高齢社会は早くくる』信濃毎日新聞〈今日の視角〉
1月31日
2216. 『昔イエナという町に』信濃毎日新聞〈今日の視角〉
2月2日
2217. 『信州の寒夜とロシア文学―拝啓 水村美苗様―』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉
2月7日
2218. 『自由と不自由の間』信濃毎日新聞〈今日の視角〉
2月14日
2219. 『ドラマ「冬の螢」の現代』信濃毎日新聞〈今日の視角〉
2月16日
2220. 『ドストエフスキーの苦難―拝啓 水村美苗様―』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉
2月20日
2221. 『壇谷雄高の巨大な闇』毎日新聞社
2月21日
2222. 『現代史への複眼的視点を』信濃毎日新聞〈今日の視角〉

2月22日

2223. 『文学界の巨木倒れた』談話, 信濃毎日新聞

2月28日

2224. 『無限の「やさしさ」の人』信濃毎日新聞〈今日の視角〉

3月2日

2225. 『言葉で音楽を書いたマン—拝啓 水村美苗様—』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉

3月7日

2226. 『本当の危機とは何か』信濃毎日新聞〈今日の視角〉

3月14日

2227. 『貧困地帯の人々』信濃毎日新聞〈今日の視角〉

3月16日

2228. 『失われた「深い豊かな生」—拝啓 水村美苗様—』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉

3月21日

2229. 『源高根と軽井沢文学』信濃毎日新聞〈今日の視角〉

3月28日

2230. 『沸き立つ香港とアジア』信濃毎日新聞〈今日の視角〉

3月30日

2231. 『チェーホフの善なる男女—拝啓水村美苗様—』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉

【追加と訂正】

追 加

1940年5月28日(昭和25年)

追一. 『初夏』ますらを, 日大三中文藝部

補 正

6. 『遠い園生』【収録誌9】『遠い園生』(限定版)鶴声居, 1974年9月15日(昭和49)

1973年4月19日

85. 刊行: 『ある告別』(特装版)吾八ぶれす

訂 正

80. 『全体像の形成とその崩壊』『小説への序章』—第4章—, 河出書房

80. 『全体像の形成とその崩壊』『小説への序章』—第4章—, 河出書房

340. 『文学・社会・音楽』→『文学・絵画・音楽』